

筑波総研株式会社

Tsukuba Institute of Research, Ltd.

調査情報

Research Report

2022年3月号 No.51



調査情報

2022年3月号 No.51

CONTENTS

1. 産業レポート

茨城県内の大学・研究機関発ベンチャーと既存上場企業の比較 2
～つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー企業の上場事例を中心として～

木村 行雄

筑波総研株式会社 客員研究員
(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

2. 観光レポート

コンテンツツーリズムによる地域活性化と文化振興 14
～「刀剣乱舞」の事例から～

山川 卓哉

筑波総研株式会社 上席研究員

岩崎 涼香

筑波総研株式会社 研究員

3. デザインレポート

企業探訪プレミアム「企業の自分史」の軌跡 26

富山かなえ

ライター兼デザイナー
筑波総研株式会社 主任研究員

茨城県内の大学・研究機関発ベンチャーと既存上場企業の比較

—つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー企業の上場事例を中心として—

木村行雄

筑波総研株式会社 客員研究員
(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

目次

第1章 はじめに	2
第2章 上場企業の意義と証券市場の改革	2
第3章 つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー企業	4
第4章 茨城県に本社を置く上場企業	10
第5章 おわりに	12

第1章 はじめに

本稿では、まず上場企業の定義や意義を示し、今年4月に市場再編が予定されている東京証券取引所の改定内容について述べる。

次につくば地区に所在する大学・研究機関に支援・育成されたベンチャー（以下、つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー）企業のうち上場した4社と、茨城県に本社が所在する上場企業13社が2021年に発表した各種データを比較し、起業から始まったベンチャー企業と、多年にわたって事業を継続してきた企業との間における成長の度合いや株主構成等の違いを確認する。

具体的には、以下のとおりである。

- ①日本取引所グループの資料等から上場企業の意義を示す。また、今年4月に行われる東京証券取引所の市場再編を簡潔に説明する。
- ②今回取り上げるつくば地区の大学・研究機関発上場ベンチャー企業4社の概要と直近のデータ（社員数や平均年収、年間売上高、時価総額等）、経営者情報（学歴、職歴等）、資本に関連する取組（業務提携や出資等）を示した後、大株主の状況（現在の上位10先）を明らかにする。
- ③比較対象として取り上げる茨城県に本社が所在する上場企業13社の概要と直近のデータを示す。
- ④最後に②の4社と③の13社について比較し、今後について述べる。

筆者は、2021年3月発行の本誌「調査情報No.50」において、日本全国の大学発ベンチャー企業の上場事例62件に関して、比較検討を行っている。その中で、情報・通信やサービス業の上場事例（東京大学発ベンチャー企業の㈱ミクシィ、慶應義塾大学発ベンチャー企業のKLab㈱等）が有力企業として存在していることを述べた。

今回はつくば地区の大学・研究機関発ベンチャー企業と茨城県に本社を置いて活動する既存上場企業を比較検討することで、ベンチャー企業発展の今後に向けた戦略等を考えてみたい。

また、本稿の内容から、多くの企業経営者や大学・研究機関等で産学連携に関わる方や投資に関わる方々に対しても、今後の取り組みに対する示唆を与えたい。

第2章 上場企業の意義と証券市場の改革

これまで筆者は、21世紀に入り、大学・研究機関発ベンチャー企業の起業が盛んに行われていることを紹介してきた。毎回必ず「成功とは何か」が問われるが、筆者は、「国内外の株式市場に上場すること」が一つの答えであると考えている。

企業が「外部から資金を募る」必要が生じた場合、証券を発行し、他の企業や個人投資家から資金を集めるが、投資家からの借金であり返済しなければならない「債券」に対し、返済の必要がなく、企業が自由に使える資金となるのが「株式」で、株式を発行できる企業が株式会社である。

株式には「上場株式」と「非上場株式」があり、非上場株式は、証券取引所で取引できない未公開の株式である。取引市場や相場がないため、個人投資家や外国人投資家等に売買されることはほとんどない。

これに対し、上場株式は投資家が「安全」に売買できるように、企業には事業の継続性や経営の透明性等が求められ、特別な審査を経て公の市場に上場される。

上場株式を発行している会社は「上場企業」と呼ばれる。また、上場された株式は、証券会社に口座を開くことで、誰でも投資家として自由に売買できるようになる。

公に上場する場である日本の証券取引所は、2013年に東京証券取引所グループと大阪証券取引所が経営統合して「日本取引所グループ」が発足した。現物市場の東京証券取引所やデリバティブ市場の大阪取引所等を運営している。

では、上場の意義とは何か。日本証券取引所グループのHPには以下の3つが述べられている。

A. 資金調達の手軽化・多様化

上場会社は、取引所市場における株式の流動性を背景に、発行市場において、公募による時価発行増資、新株予約権・新株予約権付社債の発行等、直接金融の道が開かれ、資金調達能力が増大する。

成長のための資金調達の手軽化・多様化を図ることができる。

B. 企業の知名度の向上

上場会社となることによって、株式市況欄をはじめとする新聞報道等の機会が増える。

企業の知名度が向上するとともに、優秀な人材を確保できる。

C. 社内管理体制の充実と従業員の士気の向上

企業情報の開示を行うこととなり、投資者をはじめとした第三者のチェックを受ける。

組織的な企業運営がなされ、会社の内部管理体制の充実が図られる。

以上のようなことから、上場企業となることは、役員・従業員のモチベーションの向上にもつながる。

現在、東京証券取引所は、今年4月に市場再編を控えており、新市場区分における企業を次のように整理している。



上場会社数：3,777社
(1月11日時点)

図表1 新市場区分の選択結果
(内円：現市場区分、外円：新市場区分)
出所：株式会社東京証券取引所

a. プライム市場を選択した会社 (1,841社)

CGコード¹改訂を踏まえた一段高いガバナンス(取締役会・英文開示等)への取組、流動性の一層の向上のための売出し、事業ポートフォリオの積極的な見直し、親子上場の解消等積極的な動きを行う。

上場維持基準に適合していない296社は、基準適合に向けた計画を開示し、成長戦略の実施による企業価値向上、政策保有株縮減や自社株消却等による流動性改善に取り組む。

b. スタンダード市場を選択した会社 (1,477社)

市場第一部上場会社のうち344社が、自社の事業環境や経営戦略等を踏まえ、企業価値向上に向けて自社に最適な市場区分として選択。JASDAQスタンダード上場会社は、新たにコーポレートガバナンス・コード全原則への対応に取り組む。

c. グロース市場を選択した会社 (459社)

新たに「事業計画及び成長可能性に関する事項」を開示し、今後の成長に向けた施策に取り組む。

今回の再編は、これまで各コンセプトが不明確で分かりにくかった市場区分(市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ(スタンダード・グロース))の整理や企業の質の低下を招きやすい状態(新規上場基準よりも上場廃止基準が大幅に低い等)の解消が目的である。そのため、再編後はそれぞれの新市場において、各社一層の健全性や活発化を目指した取り組みが求められるであろう。

第3章 つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー企業

本稿では第1章で述べたとおり、茨城県に関連する事例で、これまで筆者が多く取り上げてきたつくば地区の大学・研究機関発上場ベンチャー企業4社を取り上げる。

1. 大学・研究機関発上場ベンチャー企業の概要

まずは、つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー企業4社の概要を設立年月日順に図表2にまとめた。

(1) 株式会社オキサイド

(株)オキサイド(以下、オキサイド)は国立研究開発法人物質材料研究機構(通称:NIMS)発のベンチャー企業としてNIMSのHPで紹介されている。2000年10月18日に設立され、2021年4月5日に東証マザーズに上場した。

業種分類は電気機器で、単結晶、レーザー等光製品



写真：国立研究開発法人物質材料研究機構(筆者撮影)
(茨城県つくば市)

のニッチ分野を扱い、事業としては半導体検査装置、がん診断PET装置向けが中心である。

社名	(株)オキサイド	キッズウェル・バイオ(株)	(株)ライトアップ	CYBERDYNE(株)
関連大学・研究開発法人	物質材料研究機構	産業技術総合研究所、北海道大学	筑波大学	筑波大学
設立年月日	2000年10月18日	2001年3月1日	2003年9月1日	2004年6月24日
上場年月日	2021年4月5日	2012年11月30日	2018年6月22日	2014年3月26日
3月までの上場市場	東証マザーズ	東証マザーズ	東証マザーズ	東証マザーズ
今年4月以降の市場選択	東証グロース	東証グロース	東証グロース	東証グロース
業種分類	電気機器	医薬品	サービス業	精密機器
特色	単結晶、レーザー等光製品のニッチ分野を扱う。半導体検査装置、がん診断PET装置向けが主力	創業ベンチャーでバイオ後続品、バイオ新薬、再生医療を展開。小児向け疾患に注力	中小企業向け助成金診断システムや労務コンサル、ITツール展開。Webコンテンツ制作も	ロボットスーツ「HAL」開発のベンチャー。レンタルによる医療・福祉サービス主体
連結事業	光計測・新領域15、半導体48、ヘルスケア37【輸出】73(2021.2)	バイオ後続品95、新規バイオ5(2021.3)	クラウドソリューション83、コンテンツ17(2021.3)	ロボット関連100【海外】17(2021.3)
本社所在地	山梨県北杜市武川町牧原	東京都中央区新川	東京都渋谷区渋谷	茨城県つくば市学園南
代表者名	古川 保典	谷 匡治	白石 崇	山海 嘉之
従業員数(単独)	156人	39人	109人	81人(連結)96人
社員平均年齢	40.1歳	46.5歳	32.6歳	43.5歳
社員平均年収	4,470千円	6,560千円	4,510千円	6,070千円
2021年決算時売上(連結)	35.79億円	9.96億円	21.34億円	18.75億円
2021年決算時当期利益(連結)	3.1億円	△10.01億円	4.31億円	△0.59億円
時価総額(2022年1月7日現在)	306.28億円	142.09億円	152.52億円	463.19億円

図表2：つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー上場企業
出所：各社有価証券報告書、Yahooファイナンス等

(2) キッズウェル・バイオ株式会社

キッズウェル・バイオ(株) (以下、キッズウェル・バイオ) は、国立研究開発法人産業技術総合研究所 (以下、産総研) の支援を受けた北海道大学発のベンチャー企業である。2001年3月1日に設立され、2012年11月30日に東証マザーズに上場した。

業種分類は医薬品で、創薬ベンチャーとしてバイオ後続品 (バイオシミラーとも呼ばれる²⁾、バイオ新薬、再生医療の事業を展開してきた。バイオ後続品が事業の中心であったが、最近では小児向け疾患に注力しており、2021年、社名をジーンテクノサイエンスから現在のキッズウェル・バイオに変更した。



写真：キッズウェル・バイオ本社が入るビル (筆者撮影)
(金山ビル・東京都中央区)

(3) 株式会社ライトアップ

(株)ライトアップ (以下、ライトアップ) は筑波大学発のベンチャー企業である。2003年9月1日に設立され、2018年6月22日に東証マザーズに上場した。

業種分類はサービス業で、中小企業向け助成金診断システムや労務コンサル、ITツール展開、Webコンテンツ制作等中小企業のコンサル業務を中心とした事業を展開し、主にクラウドソリューションやコンテンツ制作等を行っている。



写真：ライトアップ本社が入るビル (筆者撮影)
(クロスタワービル・東京都渋谷区)

(4) CYBERDYNE 株式会社

CYBERDYNE (株) (以下、サイバーダイン) は筑波大学発のベンチャー企業である。2004年6月24日に設立され、2014年3月26日に東証マザーズに上場した。

業種分類は精密機器で、ロボットスーツ「HAL」の開発等を行い、それらをレンタルする等の医療・福祉サービスを事業の主体とした企業である。海外への進出も積極的に行っている。



写真：サイバーダイン本社 (筆者撮影)
(茨城県つくば市)

2. 経営者情報

次に各社の経営者をみていくこととする。

次ページの図表3では、4社の経営者情報として、直近決算期における代表者の氏名、生年月日、持株比率%、創業経営者か否か、出身大学、これまでの経歴について示した。

(1) オキサイド

経営者は古川保典氏、1959年生まれ。

古川氏は筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日立金属(株)に入社した。1992年にスタンフォード大学の応用物理研究所の客員研究員となり、1996年に独立行政法人物質・材料研究機構 (現 NIMS) へと移籍。その後ベンチャー休暇等を取得後、同社を設立した。

古川氏は創業者であり、現在も経営者として活動を続けている。

(2) キッズウェル・バイオ

現在の経営者は谷匡治氏、1974年生まれ。

谷氏は東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了後、サントリー(株)、武田薬品(株)の他、ベンチャー支援企業等を経て、2014年に同社に入社した。2017年に代表取締役役に就任。谷氏は創業に関わっていない。

社名	オキサイド	キッズウェル・バイオ	ライトアップ	サイバーダイン
代表取締役	古川 保典	谷 匡治	白石 崇	山海 嘉之
生年月日	1959年9月12日生	1974年5月22日生	1973年12月30日生	1958年6月24日生
持ち株比率%	7.68	0.01	46.62	37.53 (議決権は85.3)
創業に関わっているか	◎ 創業時、代表取締役	× 関わっていない	◎ 創業時、代表取締役	○ 創業時、取締役
出身大学等	筑波大学大学院	東京大学大学院	筑波大学大学院	筑波大学大学院
これまでの経歴	<ul style="list-style-type: none"> 1983年4月 日立金属(株)入社 1992年6月 スタンフォード大学 応用物理研究所 客員研究員 1996年4月 独立行政法人物質・材料研究機構 (現 国立研究開発法人物質・材料研究機構) 入所 1998年4月 九州大学理工学研究院 助教授 (併任) 2000年10月 同社設立、代表取締役社長 (CEO) (現任) 	<ul style="list-style-type: none"> 2000年4月 サントリー(株)入社 2006年1月 武田薬品工業(株)入社 2013年4月 (株)ウイズ・パートナーズ入社 ダイレクター 2014年7月 (株)レグイミュン入社 事業開発部長 2014年10月 同社入社 執行役員事業開発担当部長 2015年5月 同社執行役員 CFO 兼 事業開発担当部長 2015年6月 同社取締役 CFO 兼 執行役員事業開発担当部長 2016年7月 同社取締役 CFO 兼 執行役員経営企画室及び管理部総括 事業開発部長 2017年4月 同社代表取締役社長 (現任) 	<ul style="list-style-type: none"> 1997年4月 日本電信電話(株)入社 2000年4月 (株)ふららネットワークス (現 株 NTT ふらら) 出向 2001年4月 (株)サイバーエージェント入社 2002年4月 (有)ライトアップ (現 同社) 設立、代表取締役 就任 (現任) 	<ul style="list-style-type: none"> 1987年3月 工学博士 (筑波大学) 2003年7月 筑波大学機能工学系教授 2004年4月 筑波大学システム情報系教授 (現任) 2004年6月 同社設立取締役 2006年2月 同社代表取締役社長 (現任) 2017年10月 筑波大学サイバニクス研究センター研究統括 (現任) 2020年6月 筑波大学未来社会工学開発研究センター長 (現任)

図表3：つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー上場企業
出所：各社有価証券報告書、Yahoo ファイナンス等

(3) ライトアップ

経営者は白石崇氏、1973年生まれ。

白石氏は筑波大学第二学群人間学類を卒業後、日本電信電話(株) (NTT)、(株)サイバーエージェント等を経て、2002年にライトアップを設立した。

筑波大学基金のHPには、2005年3月 筑波大学大学院修士課程教育研究科修了とも紹介があり、社会人として修士課程を修了したと考えられる。

白石氏は創業者であり、現在も経営者として活動を続けている。

(4) サイバーダイン

経営者は山海嘉之氏、1958年生まれ。

山海氏は筑波大学大学院工学研究科 (システム制御

工学分野) 博士課程を修了後、講師として大学に採用され、2003年に機能工学系教授、2004年4月にシステム情報系教授となった。同年6月に同社を設立、取締役に就任した。

通常、国立大学の教員は兼業を行わないが、筑波大学の教員はベンチャー企業の経営者と兼務している事例が多く、筑波大学は非常に珍しい国立大学である。

山海氏は、その後2006年に代表取締役に就任し、2014年の東京証券取引所マザーズ市場上場時にも代表取締役として留り、わが国における「国立大学法人教授で上場企業経営者」の唯一の事例である。

3. 資本に関連する取り組み

次に有価証券報告書やホームページに記載されている沿革、新聞記事等から事業の買収・連携・業務提携・子会社・出資等、事業内容や資本に関連する動きをまとめた。各企業で方向性が異なるため、以下では代表的なトピックスだけを整理して各社ごとに示す。

(1) オキサイド

オキサイドのこれまでの展開を見ると、多くの国内外の製造業企業と資本業務提携や事業買収が行われていることが分かる。

当初は単結晶技術を基に事業を立ち上げたが、レーザ事業等関連分野の事業買収等を行った結果、現在は半導体検査装置、がん診断 PET 装置向けが主力事業として育っている。

事業関連

実施年月	トピックス
2005年12月	三菱電線工業株より光デバイス事業買収
2010年 9月	株マグネスケールよりレーザ事業買収
2015年 3月	日立化成株（現 昭和電工マテリアルズ株）よりシンチレータ単結晶事業買収
2018年 8月	米国 Lumeras LLC から真空紫外レーザ事業買収

資本業務提携

実施年月	トピックス
2003年 9月	東芝セラミックス株（現 クアーズテック株）と資本業務提携
2006年 6月	株ニコンと資本業務提携
2006年 8月	米国 KLA-Tencor Corporation（現 KLA Corporation）と資本業務提携
2007年10月	エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株と資本業務提携
2008年12月	レーザーテック株と資本提携
2016年 8月	株日立ハイテクノロジーズ（現 株日立ハイテック）と資本業務提携
2019年 6月	デンマーク NKT Photonics A/S とフェムト秒レーザの開発・製造で業務提携
2020年 2月	LASEA S.A. とレーザ微細加工機の販売で業務提携

(2) キッズウェル・バイオ

キッズウェル・バイオのこれまでの展開を見ると、ノーリツ鋼機株との資本業務提携や同社株式に対する公開買付等があり、ノーリツ鋼機株の子会社であった時期があることが分かる。

その他では、産総研北海道センターや株三和化学研究所等との共同研究、科研製薬株や富士製薬工業株、東亜製薬株等とのライセンス契約等があった。

事業関連

実施年月	トピックス
2002年 6月	産業技術総合研究所北海道センター内に研究所を新設し、バイオ新薬の研究開発を強化するとともに、バイオ後続品事業への参入について検討を開始
2007年 6月	バイオ新薬事業において、科研製薬株に抗 α 9 インテグリン抗体をライセンスアウト
2007年10月	バイオ後続品事業において、富士製薬工業株とフィルグラスチムバイオシミラーの共同開発契約を締結
2012年11月	富士製薬工業株との共同開発品であるフィルグラスチムバイオ後続品について、富士製薬工業株及び持田製薬株が国内での製造販売商品を取得
2014年 1月	バイオ後続品事業において、三和化学研究所とダルベポエチンアルファの共同開発契約を締結
2021年 9月	ナノキャリアと乳歯髄幹細胞（SHED）を基盤とした強化型細胞医薬「デザイナ細胞」の開発に向けた共同研究契約を締結

資本業務提携・子会社

実施年月	トピックス
2016年 3月	NK リレーションズ株及び(同)Launchpad12(いずれもノーリツ鋼機株の関係会社で、現在はノーリツ鋼機株に吸収合併され消滅)と資本業務提携契約を締結
2016年 6月	ノーリツ鋼機バイオホールディングス(同)((同)Launchpad12から商号変更した会社)による同社株式に対する公開買付けの結果、ノーリツ鋼機バイオホールディングス(同)の議決権所有割合が50%超となり、同社の親会社となる
2019年 4月	株式交換により株セルテクノロジーを同社の完全子会社化。当該株式交換に伴う新株発行により、ノーリツ鋼機バイオホールディングス(同)及びノーリツ鋼機株は議決権所有割合が40%未満となり、同社の親会社でなくなる
2020年 2月	ノーリツ鋼機株からの株式譲受により株日本再生医療を完全子会社化
2020年11月	株セルテクノロジーの全株式譲渡により、同社を連結の範囲から除外

(3) ライトアップ

ライトアップのこれまでの展開を見ると、設立後間もなくは、各事業に関する子会社が設立されていることが分かる。

その後、事業が軌道にのり事業モデルが確立されると、子会社を吸収・解散。増資等も行い、各種サービスの提供を中心とした業務展開となっている。

事業関連

実施年月	トピックス
2002年11月	クリエイター登録サイト「クリエイターズ・ジャーニー」のサービスを開始
2010年 4月	共同開発仕入サービス「WriteUp! Group & Partners（後に JD ネットと改称）」の提供開始
2014年 4月	中小企業向け経営支援サービス「J マッチ（後に J エンジンへ統合）」提供開始

子会社

実施年月	トピックス
2003年10月	(有)ライトアップクリエイイト設立
2005年 2月	(株)ビーメディアを設立
2005年 9月	(有)ライトアップクリエイイトを吸収合併
2006年 2月	(株)ビーメディアを解散

(4) サイバーダイン

サイバーダインのこれまでの展開を見ると、多くの取組が行われていることが分かる。

筆者は2018年3月発行の本誌「調査情報 No47」の「産総研技術移転ベンチャー・筑波大発ベンチャーに関する最近の状況からの考察―起業・活動状況、研究者の兼業、資金調達及び CYBERDYNE の活動について―」において、同社の2016～2017年の活動をまとめている。今回は、その後の主な事例を日本経済新聞の記事から抜粋して示す。

2018年6月11日付同紙の電子版によれば、当時、同社は約308億円の手元資金があったとされ、それを元手とした連携や出資、買収等が頻繁に行われている。

事業関連

実施年月	トピックス
2018年4月	三井不動産(株)はグループで運営する商業施設「ダイバーシティ東京プラザ」にサイバーダイン開発の清掃ロボットを導入。
2018年9月	意思伝達を支援する小型装置「Cyin (サイン)」発売を発表。
2019年7月	名古屋にロボケアセンターをオープン。子会社による初の直営店。他の都市は子会社と地元の組織が連携。18年は堺市と浦安市、19年は倉敷市と仙台市(5月)、広島市、北九州市、東京・新宿と札幌市(9月)、神戸市(10月)に新設。
2019年8月	介護者と要介護者の双方が使用可能な装着型ロボット「HAL 腰タイプ介護・自立支援用」を販売
2020年3月	羽田空港に消毒機能を追加した清掃ロボット「MB-CL02」を導入すると発表。
2020年5月	鉄道機器大手の日本信号(株)と駅構内等で使える車椅子大の自動走行する清掃ロボットを月内に商用化。
2021年9月	英国南部・ハンプシャー州から介護支援ロボ導入の大型案件を受注。受注額は5億円。5年間で127台を納入予定。

連携・提携

実施年月	トピックス
2019年3月	筑波銀行とスタートアップ支援で包括連携協定を結び、社会問題の解決や新産業の創出による地域発展を目指す。協定の一環として、物質・材料研究機構(NIMS)発のスタートアップ、マテリアルイノベーションつくば(茨城県つくば市)に出資や事業支援を行う。
2019年10月	台湾の大手医療機器専門商社、CHCヘルスケアグループと提携を発表。11月から同グループの総合病院で「HAL」4台の運用を開始。
2021年8月	脊髄損傷者専門ジム最大手のジェイ・ワークアウト(東京・江東)と提携。オンラインによる自宅での機能回復訓練サービス等を提供。

資本業務提携・子会社・出資

実施年月	トピックス
2018年7月	技術系ベンチャー企業を支援するファンドを設立した。同社と大和ハウス工業(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)、大同生命保険(株)、(株)みずほ銀行、みずほキャピタル(株)が出資し、設立時の出資総額は92億円。医療・ヘルスケアやロボティクス、人工知能(AI)等に関連したベンチャーに投資。
2019年9月	神戸大学発ベンチャー企業の(株)Integral Geometry Scienceと業務・資本提携。
2020年4月	MOVETE(株)を設立。一般・スポーツ分野におけるロボケア事業の拡充に向け、3社共同出資(業務提携関係の(一社)IWA JAPANとI&H(株)(阪神調剤グループ)と共同)。
2020年5月	人工知能(AI)を活用した医療画像の診断支援技術を手がける東京大学発ベンチャー企業、エルビクセル(株)に追加出資。筆頭株主になる(2018年10月、2020年5月に投資)。
2020年9月	静岡大学発ベンチャー企業の(株)ANSeeNは2021年に高解像度の画像を撮影できるX線センサーの量産を発表。サイバーダイン等が5億円出資、機器量産のノウハウでも支援。
2020年12月	大阪大学発ベンチャー企業で難治性疾患の治療薬を開発するクリングルファーマ(株)が、東証マザーズに上場(サイバーダインは同社株の4.6%を保有)。
2021年8月	スマートフォン用ヘルスケアアプリ開発の(株)C2を買収すると発表。(株)C2は熟睡をサポートするアプリ開発が主力。子会社化で(株)C2が持つ睡眠データを活用、ヘルスケア事業を強化(全額出資)。
2021年9月	心臓の神経を刺激する装置を開発するベンチャー企業アドリアカイク(株)と資本業務提携。第三者割当増資等5億5千万円の大半を引き受け。
2021年11月	米カリフォルニア州でリハビリ施設を運営するRISE Physical Therapy, Inc. (以下、ライズ社)を買収すると発表。医療サービス事業に進出。米国市場開拓。ライズ社は外来リハビリ施設を展開(2021年12月期の売上高約500万ドル(約5億5千万円))。米子会社が、ライズ社の発行済株式の80%を保有する新会社(サンディエゴ市)を11月中に設立予定。

4. 大株主の状況

次に、各社の大株主とその株式比率を示すことで、投資側の経営に対する影響を見ていきたい。

図表4は今回取り上げた4社の大株主である。

(1) オキサイド

創業経営者の古川氏が筆頭株主であるが、発行済株式の総数に対する所有比率（持株比率）はあまり高くない。

また、これまで行ってきた事業の提携先等（エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株)、(株)日立ハイテク、(株)ニコン、レーザーテック(株)）が資本に参加している。

そのほか、同社の本社が所在する山梨県を中心に営業を展開している(株)山梨中央銀行のコンサル子会社も

資本に参加していることが分かる。

(2) キッズウェル・バイオ

ノーリツ鋼機(株)が筆頭株主であるが持株比率は過半数に至っていない。

また、以前、(株)セルテクノロジーを子会社にした際に、株式交換を行った関係で個人株主が入っている。すでに(株)セルテクノロジーは売却済であるため、同社との間に資本関係は存在しないが、個人株主はそのまま同社の大株主としてとどまっている。

そのほか、共同研究の取組をしているナノキャリア(株)も資本参加し、サポートをしている。

オキサイド		キッズウェル・バイオ		ライトアップ		サイバーダイン	
氏名または名称	所有株式数の割合 (%)	氏名または名称	所有株式数の割合 (%)	氏名または名称	所有株式数の割合 (%)	氏名または名称	所有株式数の割合 (%)
古川 保典	13.72	ノーリツ鋼機(株)	31.97	白石 崇	46.62	山海 嘉之	37.53
エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株)	8.86	大友 宏一	5.69	(株)SBI証券	3.63	大和ハウス工業(株)	13.94
(株)日立ハイテク	7.4	ナノキャリア(株)	3.38	日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	3.21	RBC IST 15 PACT ACCOUNT-CLINENT ACCOUNT (常務代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	3.14
NTT ファイナンス(株)	6.61	(株)日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	2.82	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常務代理人 ゴールドマン・サックス証券(株))	2.93	GCAS BANA LONDON US CLINENT (常務代理人 BofA証券(株))	1.73
KLA-TENCOR (SINGAPORE) PTE,LTD	5.42	野村信託銀行(株) (信託口)	2.43	(株)チェンジ	2.22	THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT (常務代理人 (株)三菱UFJ銀行)	1.21
ティー・ハンズオン1号投資事業有限責任組合	5.29	JSR (株)	2.32	楽天証券(株)	1.91	野村信託銀行(株) (信託口)	1.02
KTVENTURE GROUPII,L.L.C.	3.32	(株)SBI証券	2.16	ライトアップ従業員持株会	1.64	日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	0.54
(株)ニコン	3.31	千寿製薬(株)	1.87	三田証券(株)	1.49	(株)SBI証券	0.53
レーザーテック(株)	3.31	小池 太郎	1.76	(株)日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	1.19	BBH FOR GLOBAL X ROBOTICS AND ARTIFICIAL INTELLIGENCE ETF (常務代理人 (株)三菱UFJ銀行)	0.37
山梨中銀経営コンサルティング(株)	3.24	津田 謹誠	1.47	日本証券金融(株)	1.17	松井証券(株)	0.32

図表4：つくば地区の大学・研究機関発ベンチャー上場企業の直近決算期 所有株主順大株主の状況
出所：各社有価証券報告書

(3) ライトアップ

創業経営者の白石氏が過半数弱を押さえている。また、図表4に記載していないが、同社は2021年3月末時点で288,063株の自己株を保有しており、これらを合わせると発行済株式総数の過半数を超えると考えられる。なお、自己株には議決権はないが、敵対的買収を防ぐためには有効である。このほか、従業員持ち株会も1.64%保有している。

2.22%の株式を保有する(株)チェンジは、東証一部上場企業であり、2020年12月に資本業務提携を行っている。同社と(株)チェンジは、地方に集積する中小企業のDX・補助金・助成金領域のDX・DXプラットフォームの提供による地方創生の実現を一緒に目指している。

(4) サイバーダイン

同社の経営者である山海氏と創業当初から協力関係にある大和ハウス工業(株)との合算で、所有株式数の割合は過半数に達する。なお、山海氏の所有株式数の割合は過半数に満たないが、議決権は85.30%と非常に高い。これは普通株式の10倍の議決権がある種類株を発行し、経営者である山海氏が取得することで、個人・企業を問わず、できるだけ同社以外に議決権を与えないようにしていることを示している。なお、同社はこれに関し、詳しい理由を有価証券報告書で以下のように述べている。

普通株式の単元株式数は100株とし、B種類株式の単元株式数は10株としています。普通株式及びB種類株式について異なる単元株式数を定めているのは、当社の議決権を山海嘉之及び本財団法人に集中させることにより、当社グループの先進技術の平和的な目的での利用を確保し、人の殺傷や兵器利用を目的に利用されることを防止することにあります。

また、当社グループの将来ビジョンである、少子高齢化という社会が直面する課題を解決しつつ、人支援産業という新しい産業分野を開拓するためには、サイバニクス技術の研究開発と事業経営を一貫して推進する必要があります。山海嘉之は、このサイバニクス技術を創出し、現在もサイバニクス研究の中心的な存在であり、更なる革新的な技術を社会に還元するための事業推進者でもあります。このため、当社グループの企業価値向上(株主共同利益)には、当面の間、山海嘉之が経営に安定して関与し続けることが必要であると考えており、これを実現可能とするため、本スキームを採用しています。

(5) 4社の状況

4社すべての大株主として、楽天証券(株)、(株)SBI証券等のネット証券会社、野村信託銀行(株)、(株)日本カストディ銀行、日本マスタートラスト信託銀行(株)等の信託銀行の「投資口」あるいは「証券投資口」(年金基金や投資信託、保険会社等の機関投資家が保有している株式のうち資産管理専門銀行による管理分)の名があることが分かる。

このように、現在、ベンチャー企業の上場株式は法人、個人を問わず、投資対象となっていることが分かる。

このほか、創業時、大学や研究機関が関わっている企業であっても、大学等との間に、特段の資本関係は見えないこともここで示された。

第4章 茨城県に本社を置く上場企業

次に茨城県に本社を置く上場企業13社について見ていく。なお、サイバーダインは茨城県に本社を置く上場企業であるが、前章でつくば地区の大学・研究機関発ベンチャー企業として取り上げているため除外した。

一方、(株)めぶきフィナンシャルグループについては、登記上の本店所在地が東京都中央区であるが、本社所在地を茨城県水戸市(水戸本社)と栃木県宇都宮市(宇都宮本社)としているため、今回の対象に加え、検討を行うこととする。

また、(株)筑波銀行はつくば市に本部ビルが所在するが、本店は現在も土浦市に所在しているため、土浦市の企業として記載する。

1.13 社の概要

次頁の図表5-1では、各社の直近決算期の有価証券報告書から、社名、設立年月日、上場年月日、代表者名、業種分類、本社所在地、主な事業内容を設立順に示した。

これらから、まず、第二次世界大戦以前に設立された企業がないことや、13社とも上場は1970年代以降に行われていることが分かり、比較的新しい企業群であることが読み取れる。

さらに、そのうち5社は小売業で、1970年代から1990年代に設立されている。

そのほかの企業については、金融2社を除き、全く異なる業種である。

本社の所在地については、水戸市が5社、つくば市が2社、土浦市が3社、それ以外は高萩市と筑西市、龍ヶ崎市であり、一部の地域に集中する等という統一性は見られない。

	社名	設立年月日	上場年月日	代表者名	業種分類	本社所在地	主な事業
1	日本アイ・エス・ケイ(株)	1948年 4月30日	1974年12月13日	曾根 栄二	その他製品	つくば市寺具	鋼製品28、デンタル31、書庫ロッカー34、OAフロア1、不動産賃貸4、他2 (24) (2020.12)
2	助川電気工業(株)	1949年 2月 3日	1991年 4月26日	小瀧 理	精密機器	高萩市上手綱	エネルギー関連37、産業システム関連60、他3 (2021.9)
3	(株)筑波銀行	1952年 9月15日	1974年 4月 1日	生田 雅彦	金融	土浦市中央	定期35、普通61、当座2、通知0、他1【資産】現・預け金13、有価証券18、貸出金67、他2
4	暁飯島工業(株)	1953年 9月16日	1994年 4月19日	植田 俊二	建設	水戸市千波町	建築設備50、リニューアル43、土木プラントビルケア5、他2 (2021.8)
5	(株)ケースホールディングス	1973年 9月29日	1988年 4月14日	平本 忠	小売	水戸市桜川	音響商品2、映像商品13、情報機器24、家庭電化商品38、季節商品17、他6 (2021.3)
6	(株)ジョイフル本田	1975年12月15日	2014年 4月18日	細谷 武俊	小売	土浦市富士崎	ホームセンター 100 (2021.6)
7	(株)JM ホールディングス	1978年 8月 8日	2016年 4月21日	境 正博	小売	土浦市卸町	スーパーマーケット97、他3 (2021.7)
8	(株)ライトオン	1980年 4月 1日	1995年 5月26日	藤原 祐介	小売	つくば市小野崎	ボトムス34、カットソー・ニット35、シャツ・アウター 15、他16 (2021.8)
9	香陵住販(株)	1981年10月 5日	2018年 9月13日	薄井 宗明	不動産	水戸市南町	不動産流通70、不動産管理30 (2021.9)
10	ホリイフードサービス(株)	1993年 7月 1日	2007年 4月19日	藤田 明久	小売	水戸市城南	飲食100 (2021.3)
11	(株)めぶきフィナンシャルグループ	2008年 4月 1日	2013年12月19日	笹島 律夫	金融	水戸市南町(水戸本社)	【資金】定期24、普通67、当座3、通知0、他6【資産】現・預け金28、有価証券19、貸出金52、他1
12	日本電解(株)	2016年 6月17日	2021年 6月25日	中島 英雅	非鉄金属	筑西市下江連	車載電池用銅箔64、回路基板用銅箔36【海外】22 (2021.3)
13	AI メカテック(株)	2016年 7月 1日	2021年 6月25日	阿部 猪佐雄	機械	龍ヶ崎市向陽台	IJP ソリューション15、半導体関連23、LCD62【海外】97 (2021.6)

図表5-1：茨城県に本社を置く上場企業13社の概要
(社名・設立年月日・上場年月日・代表者名・業種分類・本社所在地・主な事業内容)
出所：有価証券報告書

2.13 社の上場市場および直近決算期の各種係数

次ページの図表5-2では、13社の社名、今年3月末までの上場市場、4月以降の新市場（各企業が選択した市場）、直近決算期の売上高と当期利益、2022年1月7日時点の時価総額、特記事項を示した。

これらを見ると、まず、東証一部とJASDAQ市場への上場が多く、マザーズ、東証二部が少ないことが分かる。

また、小売業は売上高が1,000億円を超える企業が多い。

このほか、時価総額が2,000億円を超える企業が2社ある一方で、50億円を下回る企業も4社ある等、13社の評価には大きな隔りがあることがわかる。

4月以降の新市場では、13社のうち6社がプライムへ、6社がスタンダードへ、1社がグロースへ移行する。

特筆すべき点としては、家電品等の小売業である(株)ケースホールディングスの売上高が7,900億円を超え、他社を圧倒していることである。

	社名	今年3月までの上場市場	新市場の選択	直近決算期の売上高(連結) (単位:百万円)	直近決算期の当期利益(連結) (単位:百万円)	2022年1月7日の時価総額 (単位:百万円)	特記事項
1	日本アイ・エス・ケイ(株)	JASDAQ スタンダード	東証 スタンダード	5,000	263	2,346	
2	助川電気工業(株)	JASDAQ スタンダード	東証 スタンダード	3,698	199	5,301	
3	株筑波銀行	東証一部	東証 プライム	35,791	1,760	15,520	
4	暁飯島工業(株)	JASDAQ スタンダード	東証 スタンダード	7,407	669	3,714	
5	株ケースホールディングス	東証一部	東証 プライム	792,542	38,734	245,700	
6	株ジョイフル本田	東証一部	東証 プライム	132,499	8,985	109,363	
7	株JMホールディングス	東証一部	東証 プライム	129,823	4,246	43,141	
8	株ライトオン	東証一部	東証 プライム	49,605	△ 2,070	21,068	
9	香陵住販(株)	JASDAQ スタンダード	東証 スタンダード	7,799	406	2,553	
10	ホリイフードサービス(株)	JASDAQ スタンダード	東証 スタンダード	2,767	△ 1,054	2,931	(株)TBIホールディングスが株式の51%を保有
11	株めぶきフィナンシャルグループ	東証一部	東証 プライム	274,726	36,478	297,122	登記上の本社:東京都中央区
12	日本電解(株)	東証マザーズ	東証 グロース	14,584	193	39,078	1958年設立
13	AIメカテック(株)	東証二部	東証 スタンダード	16,105	696	7,144	

図表5-2:茨城県に本社を置く上場企業13社の概要

(社名、今年3月までの上場市場、新市場の選択、直近決算期の売上高および当期利益、2022年1月7日現在の時価総額、特記事項)
出所:有価証券報告書

また、常陽銀行および足利銀行の持株会社である(株)めぶきフィナンシャルグループの経常収益(金融機関における売上高)も2,747億円と大きい。

さらに、小売業である(株)ジョイフル本田と(株)JMホールディングスの売上高も1,000億円を超えている。

このほか、有価証券報告書から、各社の大株主については、以下のように整理することができる(本稿では会長や社長等を経営者とみなす)。

○経営者及びその関係会社が筆頭株主の事例

- ・日本アイ・エス・ケイ(株)
- ・助川電気工業(株)
- ・(株)JMホールディングス
- ・(株)ライトオン
- ・香陵住販(株)

以上の5社

○県内金融機関(常陽銀行・筑波銀行・水戸信用金庫)が大株主に入る事例

- ・助川電気工業(株)
- ・暁飯島工業(株)
- ・(株)ジョイフル本田
- ・(株)ライトオン
- ・ホリイフードサービス

以上の5社

第5章 おわりに

最後に、各社の比較から今後に向けた示唆を与える。

まず、大学・研究機関発のベンチャー企業4社では、オキサイド、キッズウェル・バイオ、サイバーダインの3社が研究開発に基づいた起業であることに対し、ライトアップは、創業者の業務経験を活かし、ITを用いたコンサルや助成金診断等を行う起業であった。

また、オキサイド、ライトアップ、サイバーダインの創業経営者は、全員筑波大学大学院の出身の研究・開発者で、筆頭株主である。さらに、ライトアップの経営者は茨城県出身のため、地域との関係性も深いと考えられる。

一方、キッズウェル・バイオは既に創業者の手を離れて他の企業の傘下として経験のある者によって経営され、茨城県との関連も希薄になっている。

2021年度の売上高はオキサイドが最大であり、約35億円を計上している。他は10~20億円程度である。また、時価総額はサイバーダインが約463億円と最大で、他は150~300億円程度であった。

4社はすべて異なる業種のため比較は難しいが、総じて事業の買収や資本提携等は盛んである。特にサイバーダインは多くの企業に資本参加している。

一方、茨城県に本社を置く上場13社では、小売業の売上高が圧倒している。ベンチャー企業的なITやバイオの成長事例はほぼなく、小売業と金融業は東証一部、製造業はJASDAQへの上場が多い。

4社と13社の共通項を挙げると、創業者の持株比率が高いこと、役員就任等が挙げられる。小売業で成長した(株)ケースホールディングスや(株)ジョイフル本田等も創業者一族が未だ大株主である。

また、茨城県の3金融機関（常陽銀行、筑波銀行、水戸信用金庫）が株主所有数の上位に入っている事例もあり、地域との結びつきの深さがうかがえる。

上場企業サーチ HPによると、2022年1月20日現在、全国に3882社の上場企業がある中で、茨城県は13位の14社（(株)めぶきフィナンシャルグループを含む）であった。

上場企業の多くは東名阪等の大都市圏に集中し、特に東京都は2,024社と突出して多い。次いで大阪府（430社）、愛知県（224社）、神奈川県（181社）、兵庫県（116社）となり、この5都府県で全体の77%を占める。なお、香川県（16社）や福井県（15社）、愛媛県（14社）、山梨県（14社）、鹿児島県（12社）等が茨城県と近い。

茨城県の総企業数は3万社を超えるが、上場企業は少ない。この理由には、茨城県内に多くの事業所や工場を持つ日立グループ各社が東京都内に本社機能を持っていることが挙げられる。(株)日立パワーソリューションズ、(株)日立産業制御ソリューションズ、(株)日立テクノロジーアンドサービス、(株)日立ビルシステム、日立Astemo 電動機システムズ(株)、(株)日立ハイテクマニファクチャ&サービスは本社を茨城県に置いた企業であるが、いずれも非上場である。

茨城県の2021年11月1日現在の人口は、水戸市（約26.9万人）、つくば市（約24.9万人）、日立市（約17.0万人）、ひたちなか市（約15.3万人）、土浦市（約13.7万人）、古河市（約13.7万人）等が上位であるが、上場企業の本社も水戸市5社・つくば3社（サイバーダインを含む）・土浦市3社であった。日立市とひたちなか市には日立グループの企業が多く、昨今これらの再編が盛んに実施されているものの、上場とは異なる動きであるため、2市に本社が所在する上場企業はない。

本稿の結論として、つくば地区でベンチャー企業を起業する取組は茨城県内の他市町村では見られないため、つくば地区の大学・研究機関の取組は重要である。そのため、つくば地区の大学・研究機関と製造業の多い日立グループの交流や新しい枠組みづくり等から、新しい企業ができる可能性を期待したい。新たな研究

開発型の起業につなげることも重要と考える。さらに、大手小売業と大学・研究機関発ベンチャー企業の交流が活発化すれば、サービスとテクノロジーが融合した全く新しい取組が可能となる。これらは社会実装の新たなモデルにもなりうるため、その展開に期待したい。

【注】

- 1 企業統治指針のことで、企業が株主をはじめ、顧客や従業員、地域社会等さまざまなステークホルダーとの望ましい関係性や、企業を監視する取締役会等の組織のあるべき姿について記述した文章のこと。日本企業のガバナンスの底上げを目的に、2015年に金融庁と東京証券取引所が共同で策定。
- 2 バイオ後続品（バイオシミラー）とは、先行バイオ医薬品（新薬）を開発した会社の特許期間が満了した後に、他の会社が先行バイオ医薬品と同等・同質の品質、安全性、有効性をもつ医薬品として製造・販売する医薬品。先行バイオ医薬品より薬の価格が安く、薬剤費の負担注）が軽減されることがメリットとされる。

〈主要参考文献〉

木村行雄（2012）『つくば発ベンチャー企業とイノベーション』ココデ出版。

木村行雄（2018）「産総研技術移転ベンチャー・筑波大発ベンチャーに関する最近の状況からの考察－起業・活動状況、研究者の兼業、資金調達及びCYBERDYNEの活動について－」調査情報No47,2018年3月。

https://www.tsukubair.co.jp/wp/wp-content/uploads/mreport/2015/07/201507_13.pdf

日本証券取引所グループ HP

<https://www.jpx.co.jp/equities/listing-on-tse/ipo-benefits/index.html>

株式会社東京証券取引所「新市場区分の選択結果について」2022年1月11日。

上場企業サーチ「日本の各都道府県の株式会社数と上場会社数」

https://xn--vckya7nx51ik9ay55a3l3a.com/analyses/number_of_companies

コンテンツツーツーリズムによる地域活性化と文化振興

～「刀剣乱舞」の事例から～

山川 卓哉

筑波総研株式会社 上席研究員

岩崎 涼香

筑波総研株式会社 研究員

目次

はじめに	14
第1章 コンテンツツーツーリズムとは	14
第2章 コンテンツツーツーリズムの概要（分類）	15
第3章 リピート率が高い「聖地巡礼」	17
第4章 歴史ものゲームと「聖地巡礼」	17
第5章 「刀剣乱舞」における聖地巡礼	17
おわりに	25

はじめに

2019年12月に新型コロナウイルス感染症の最初の患者が発見されてから、世界中の人の動きが激変した。諸外国からの入国制限が続き、国内においても、不要不急の外出自粛や都道府県をまたいだ移動の自粛、飲食店の営業時間短縮と酒類の提供制限などにより、宿泊・飲食をはじめとした観光産業において、非常に厳しい状況が続いている。

それまでの観光産業は、インバウンドの増加や地方創生の文脈における多様な観光メニューの創出などにより、拡大基調が続いていたが、それが消し飛んでしまったような状況である。しかし、このような状況においても、旅に出て非日常的な空間に移動して楽しみたいという人々の欲求は強く、オンラインツアーやバーチャルツアーといった仮想の旅が次々と企画され、多くの人が利用している。感染拡大の収束などにより自由な移動が可能になった暁には、観光客はこれまでの反動で大きく増加すると思われる。

それでは、ニューノーマルの時代にはどのようなスタイルの観光が注目されるのであろうか。筆者は、現実空間とデジタル空間が切り離せなくなっている現代においては、近年注目されてきた「コンテンツツーツーリズム」がさらに増加するのではないかと考えている。そこで本稿では、同ツーツーリズムについて整理する。また、その中でもリピーターが多いとされる「聖地巡礼」といわれる分野、さらにその中でも全国的な動きになっている「刀剣乱舞-ONLINE-」というゲームに関する聖地巡礼について、近年の動向について整理した。

第1章 コンテンツツーツーリズムとは

2003年、小泉内閣総理大臣（当時）が施政方針演説において「日本を訪れる外国人旅行者を2010年に倍増させる」という目標を打ち出した。そして、有識者による「観光立国懇談会」が開催され、「観光立国懇談会報告書」がまとめられた。この報告書の中では、当時の状況を「日本人の典型的な観光旅行のパターンは、名所見物型パッケージツアーが一般的であったが、1990年代に入ると、参加・体験型の観光旅行が注目されるようになった。そのような観光ニーズの変化に対応して、個人や少人数主体の旅行や、研修討論旅行、学術・ビジネス連繋観光や産業観光、エコツーツーリズム（生活環境観光）やグリーン・ツーツーリズム（農村観光）などが展開されるようになった。」と述べており、「従来の大量生産・大量販売型の観光に代わって、個々の観光客の主体性を尊重して、学びや癒しや遊びなど、それぞれなりの楽しみ方を可能にする『新しい型の観光』の促進も図らねばならない。」と課題を提起している（首相官邸 HP より）。

この「新しい型の観光」の一つとして注目されたのが「コンテンツツーツーリズム」である。

「コンテンツ」は、2004年に成立、施行された「コンテンツの創造、保護及び活用の促進に関する法律」によって、「映画、音楽、演劇、文芸、写真、漫画、アニメーション、コンピュータゲームその他の文字、図形、色彩、音声、動作若しくは映像若しくはこれらを組み合わせたもの又はこれらに係る情報を電子計算機を介して提供するためのプログラムであって、人間

の創造的活動により生み出されるもののうち、教養又は娯楽の範囲に属するものをいう。」と定義されている。

「コンテンツツーリズム」は、2005年に行われた国土交通省総合政策局、経済産業省商務情報政策局、文化庁文化部による「映像等コンテンツの制作・活用による地域振興の在り方に関する調査」によって、「地域に関わるコンテンツ（映画、テレビドラマ、小説、まんが、ゲームなど）を活用して、観光と関連産業の振興を図ることを意図したツーリズムを「コンテンツツーリズム」と呼ぶことにしたい。」と定義されている。

同調査において、「コンテンツツーリズムの根幹」は、「地域に『コンテンツを通して醸成された地域固有の雰囲気・イメージ』としての『物語性』『テーマ性』を付加し、その物語を観光資源として活用することである。」としている。

2004年に内閣府知的財産戦略本部が策定した「知的財産推進計画2004」においても、「地域の魅力あるコンテンツの効果的な活用を通じた地域経済の活性化等を図る観点から、地方公共団体が自主的に行うコンテンツをいかした地域づくりやまちづくりのための戦略策定や実施に向けた取組の奨励を行う。」としている。

2003年から始まった国土交通省を中心とした「ビジット・ジャパン・キャンペーン」、2010年から始まった経済産業省を中心とした「クール・ジャパン戦略」、2014年から始まった内閣府主導の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などにおいても、インバウンドの誘致、交流人口・関係人口の増加等による地域の活性化といった目的でコンテンツツーリズムが推進され、現在、成功事例や失敗事例が蓄積され、観光学においても研究が進められているところである。

なお、訪日外国人旅行者数は、「ビジット・ジャパン・キャンペーン」が始まった2003年には521万人だったものが、2019年には3,188万人と約6倍にまで増加した（令和3年版観光白書、P11）。国内旅行者数については大きな変化がみられないが、日本人国内旅行消費額では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が始まった2014年の18.4兆円から2019年には21.9兆円と約2割増加した。これらの数字から、日本の観光振興政策は一定の成果を上げてきたことが分かる。

しかし、2020年は世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外国人観光客数が前年に比べて87.1%減少の412万人、日本人国内旅行消費額は同54.3%減少の10.0兆円となり、観光産業は非常に大きな打撃を受けている（令和3年版観光白書、P11、20、21）。

当然コンテンツツーリズムの動きも大きく縮小しているが、動画配信サービスや家庭用ゲームソフトなどは需要が伸びていることから、コンテンツそのものに触れている人はむしろ増えていると考えられる。そのため、コンテンツにゆかりのある地への旅行を我慢している人が増えており、コンテンツツーリズムにおいても、人流回復後の反動増が起ることが予想される。

第2章コンテンツツーリズムの概要（分類）

「コンテンツツーリズム」という言葉自体はまだ新しいものである。しかし、映画「ローマの休日」の撮影スポットを巡るツアーや、大河ドラマや朝ドラのロケ地を巡るツアーなどは、コンテンツツーリズムが定義される以前から行われていた。それが近年注目されるようになった要因としては、デジタル化とネットワーク化が進んだことが大きい。

スマートフォンやタブレットなどの普及により、文字や音声、写真、動画などの収集、編集、発信が容易になったことから、「個人レベルで観光の目的地を発見して訪問し、その内容をインターネット上に公開するようになり、それを視聴した人々が同様の観光行動に出る」といった動きがみられるようになった。

そして、このような動きは、特にアニメーションの分野で多くみられている。アニメでは、現実に存在する場所を物語の舞台や背景に使うことがあるが、その場所を特に公表しない場合も多い。それでもアニメのファンになった人が様々な情報から場所を特定し、そこを「聖地」として訪問する、いわゆる「聖地巡礼」といわれる行動である。こうした動きが全国各地でみられるようになり、これまで観光地とみなされていなかった地域が観光地化する事例も現れている。

なお、コンテンツツーリズムにおけるコンテンツには様々な種類があり、その種類によって「フィルムツーリズム」や「文学ツーリズム」などに分類されているが、文献や論文などをみても明確な分類はなされていないようである。そこで本稿では、様々な情報を参考にして【表1】のように暫定的に整理した。

一般的に、「映像全般」に関する旅は「フィルムツーリズム」として大きな括りで分類されている。その内、映画やドラマにゆかりのある場所を訪れる旅は「シネマツーリズム」や「スクリーンツーリズム」、アニメにゆかりのある場所を訪れる旅は「アニメツーリズム」とされている。一方で、映画やドラマ、アニメ等に関わらずロケ地を訪ねる旅をロケツーリズムとも呼ばれており、さらにアニメ・マンガ、ゲームなどにゆかりのある場所を訪れる旅については「聖地巡礼」といわ

れている。

聖地巡礼は、1990年ごろから始まったといわれているが、この言葉が2016年のユーキャン新語・流行語大賞でトップ10に入ったことから一般にも広く使われるようになった。

そのほかのコンテンツツーリズムとしては、「文学

ツーリズム」(ブックツーリズム) やミュージックツーリズム、アートツーリズムといったものがあり、それぞれの作品や作者、アーティストのゆかりの地を訪れる旅などを指す。松尾芭蕉の俳句をたどる旅や東海道五十三次をめぐる旅などが古くから行われてきたが、これらもコンテンツツーリズムといえるだろう。

【表1】コンテンツツーリズムの分類

種類	コンテンツ	作品・イベント例	場所
フィルムツーリズム ・シネマツーリズム ・スクリーンツーリズム ・アニメツーリズム ・ロケツーリズム ・ <u>聖地巡礼</u>	映画	ローマの休日 るろうに剣心	ローマ (イタリア) 滋賀県
	テレビドラマ	北の国から 大河ドラマ、朝ドラ	北海道富良野市 全国各地
	アニメ・マンガ	ガールズ&パンツァー 君の名は。 ゲゲゲの鬼太郎	茨城県大洗町 岐阜県飛騨市 島根県境港市
	<u>ゲーム</u>	<u>刀剣乱舞</u> ゴーストオブツシマ	<u>全国各地</u> 長崎県対馬市
文学ツーリズム (ブックツーリズム)	作家	宮沢賢治	岩手県花巻市
	俳句	松尾芭蕉	東北・北陸
	小説	坊ちゃん (夏目漱石)	愛媛県松山市
ミュージックツーリズム	音楽フェス・コンサート	フジロックフェスティバル フジアンドサン	新潟県湯沢町 静岡県富士市
	レッスン	草津夏期国際音楽アカデミー 茨城国際音楽アカデミーinかさま	群馬県草津町 茨城県笠間市
アートツーリズム	絵画・建築・アーティストなど	東海道五十三次 金沢クリエイティブツーリズム	東海道 石川県金沢市

※各種情報を基に筆者作成



第3章 リピート率が高い「聖地巡礼」

上記の分類の中でも、聖地巡礼はリピート率が高いとされているが、どうしてだろうか。作品の舞台に訪問してその世界を追体験したい、登場人物と同じポジションに立ちたいといった動機は、実写の映画やドラマでも同じであろう。しかしアニメの場合は、現実の舞台と全く同じではなく、そのアニメオリジナルの描写がなされている。そのため、リアルの空間にいながら脳内でアニメの風景を投影したり、好きなキャラクターを動かしたり、あるいは自らがそのキャラクターに扮装（コスプレ）したり、といった様々な楽しみ方ができることが、聖地巡礼に夢中になる理由の一つではないだろうか。また、放送期間が長いアニメにおいては、新たに放送されたシーンも追体験したいという動機が生まれ、繰り返し訪問するのではないだろうか。

これらに加えて、近年は地元の関与も強くなっている。アニメ制作会社とのタイアップ（コラボレーション、コラボ）による関連グッズの販売、作品中に出てくる飲食メニューの提供など、そこに行かなければ手に入らない、味わえないものを提供することで、聖地巡礼者の満足度を高める工夫が各地で見られるようになった。

さらにリピーターは、何度も訪問しているうちにその地域の住民とも交流するようになり、作品に加えて地域のファンになっていく例もみられる。制作者のほうでも、アニメの作品をゲーム化、小説化したり、ミュージカルにしたりと様々なメディアミックスを展開し、ファンをつなぎとめている。

また、日本のアニメには外国人のファンも多く、訪日の際の旅程に聖地を組み込む例も多く、そういった観点からも聖地巡礼は注目されている。

第4章 歴史もののゲームと「聖地巡礼」

近年、アニメだけでなく、ゲームの聖地巡礼も盛んになっている。

ゲームの聖地巡礼では、歴史もののゲームに関するものが多くみられる。1980年代にリリースされて現在も新作が発表されている「信長の野望」や、「戦国無双」、「戦国BASARA」、「刀剣乱舞」などである。

近年の歴史もののゲームは、「かっこいい」「かわいい」「美しい」男性キャラクターと有名な声優の起用により、多くの女性の心をわしづかみにした。そしてゲームから戦国武将や刀剣などに興味を持った「歴女」が増加し、そのゆかりの地や刀剣を巡礼する女性が増加したのである。

この歴史もののゲームをきっかけに「歴女」となった女性は、城や城下町、神社、寺院、博物館など、これまで比較的高齢者が多く訪れる場所を訪問するようになった。受入側もはじめは戸惑いがあったようだが、現在は好意的に受け入れられ、様々なイベントなどが各地で行われるようになった。地域活性化のためのまちを挙げた取組などもみられ、それに歴女たちが押し寄せるようになってきている。

なお、こうした動きは、文化財の保存という観点からも重要である。我が国では現在、文化財を後世につないでいくうえで、文化財を「保護」するだけでなく「活用」していくことによって、より多くの人にその価値を理解してもらうことや地域の活性化につなげることを重視しており、地域主体による文化財の活用を推進している。歴女たちは、訪問して自ら体験するだけでなく、SNS等で日本の伝統文化や地域の魅力を世界中に発信しており、文化財の活用にも貢献しているのである。

第5章 「刀剣乱舞」における聖地巡礼

本章では、歴史もののゲームのなかでも「刀剣」を題材にし、そのファンが全国各地の美術館・博物館や地域を賑わせている「刀剣乱舞」と受入側の取組、ファンの関わり方などを紹介する。

①「刀剣乱舞」とは

「刀剣乱舞」は、ゲームから始まった。シミュレーションゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」は、2015年1月にサービス開始され、PCブラウザ版登録者数200万人、スマホアプリダウンロード数800万を突破している（2022年1月14日時点）。

このゲームは、「審神者（さにわ）」と呼ばれるプレイヤーが、実在している、あるいは実在していた日本の名刀を擬人化したキャラクター「刀剣男士」を収集・育成し、隊を編成して敵との戦いに挑むものである。

核となるストーリーの舞台は、西暦2205年の未来である。「歴史修正主義者（敵）」が時間をさかのぼって過去へと干渉し、歴史を改変しようとするのを阻止するため、「審神者」と「刀剣男士」たちが共に戦いを繰り広げる。

「刀剣男士」は、多くの魅力的な男性キャラクターが登場し、有名な声優も起用されていることなどから、女性を中心に現在もファンを増やしている。そして、刀剣を展示している日本各地の神社仏閣や博物館などを聖地として、多くの刀剣乱舞ファンが巡礼するなど、様々な社会現象を引き起こしている。

また、刀剣乱舞は様々なメディアミックスを展開している。アニメやゲームなどの2次元の世界を3次元の役者の演技によって忠実に再現する、「2.5次元」といわれるミュージカルや舞台の公演、テレビアニメやコミックス化、実写映画化もされている。

ミュージカルや舞台と、文化遺産などとのコラボも行われるようになった。2016年には広島・厳島神社のユネスコ世界遺産登録20周年記念奉納行事として、「ミュージカル刀剣乱舞 in 厳島神社」が上演され、2017年には、新小田原城への来場者100万人達成記念として、小田原城天守閣前で一夜限りの野外特別公演「舞台『刀剣乱舞』外伝 此の夜らの小田原」が上演された。

2018年には「日本ユニシス Presents ミュージカル『刀剣乱舞』×読売ジャイアンツ コラボナイター」が東京ドームで開催され、6人の刀剣男士（俳優）がパフォーマンスを披露し、始球式も行った。同年末、第69回 NHK 紅白歌合戦で、ジャパンカルチャー特集企画として19人の刀剣男士が出場した。

現在も、ミュージカルや舞台が日本全国の主要都市で開催されているほか、人気俳優の単独公演が全国の地方都市でも開催されており、2021年10月には茨城県結城市でも開催された。これらの公演チケットは抽選制となっており、観劇ツアーや宿泊プランも組まれている。このほか、映画やアニメにおいても継続的に新作が放映されており、こうしたメディアミックスによって、刀剣乱舞はファンの囲い込みや獲得につながっている。



②「刀剣の聖地」巡礼

【表2】は、神社仏閣や博物館などで刀剣乱舞に関連した刀剣を展示し、イベント等で集客を図っている事例を年表にまとめ、その傾向を調べたものである（筆者がインターネットで調査したものであり、全ての事例を網羅しているものではない）。

まず開催地についてであるが、北海道から沖縄まで

全国的に実施されている。

次に制作側とのコラボについては、主に「①等身大パネル・イラストの展示」「②記念グッズの配布」「③コラボグッズの販売」で、ほとんどの展示で実施されている。その他で多いのは、「④声優による音声ガイドの貸出」「⑤スタンプラリーの開催」である。また、少数ではあるが「⑥乗り物（鉄道・バス・人力車・ロープウェイ）とのコラボ企画」や「⑦飲食店や水族館とのコラボ企画」などもみられる。2021年からは、「⑧コラボツアー（グッズ付宿泊プランや日帰りバスツアー）」が増加している。

なお、宿泊プランは、主に大手旅行代理店が企画しており、かなり遠方からの旅行を想定した航空券付のものも販売されている。

ブログ等において、「開催期間中に前年度の入館者数を超えた」「入館待ちが2～3時間となった」といった大盛況を伝える記事が多数掲載されており、コラボ企画の集客効果をうかがい知ることができる。

また、主催者側が刀剣乱舞ファンに対して好意的で、「鑑賞の態度がとても良い」「歴史的背景などもきちんと押さえている」「質問のレベルが高い」などのコメントが掲載されており、ゲームという入り口から、日本の歴史や伝統文化に興味を持ち、深く探求するようになっている。

訪れた地域の歴史や文化を学び、ご当地グルメを食べて泊まって帰る刀剣乱舞ファンは、地域にとって歓迎すべき旅行客であろう。

【表2】刀剣乱舞に関連する刀剣展示の年表（インターネット検索により筆者作成）

時期	場所 所在地	イベント名 展示された刀剣	特記事項
2015年			
5月	徳川ミュージアム 茨城県水戸市	2015国際博物館の日記念ミュージアムトーク 太刀「燭台切光忠」	次項で詳細を紹介
5月	結城蔵美館 茨城県結城市	結城蔵美館開館1周年記念イベント 槍「御手杵」	次項で詳細を紹介
10月	羽田空港ディスカバリー ミュージアム 東京都大田区	第19回企画展「徳川ミュージアム所蔵品精選 徳川家康 天下泰平の軌跡」 太刀「燭台切光忠」	
10月	丸亀市立資料館 香川県丸亀市	丸亀市合併10周年記念 京極家の家宝展 脇差「にっかり青江」	
12月	京都国立博物館 京都府京都市	特集陳列「刀剣を楽しむ-名物刀を中心に-」 太刀「髭切」・太刀「膝丸」など	音声ガイド貸出
2016年			
1月	福岡市博物館 福岡県福岡市	黒田家家宝展示 打刀「へし切長谷部」	
2月	阿蘇神社 熊本県阿蘇市	蛭丸復元・玉庄(打ち始め)式(蛭丸伝説プロジェクト) 大太刀「蛭丸」	次項で詳細を紹介
3月	薬師寺大宝蔵殿・聚宝館 奈良県奈良市	大宝蔵殿 特別開扉「仏教と刀」同時開催 特別展示「噂の刀展」 打刀「和泉守兼定」・打刀「陸奥守吉行」など約60点	
4月	香川県立ミュージアム 香川県高松市	KATANA-刀剣を楽しむ3つの見方- 脇差「にっかり青江」など13点	
5月	札幌市民ギャラリー 北海道札幌市	「日本刀展 ～平安時代から現代まで」 粟田口国綱、虎徹、清麿、村正など	
6月	国営飛鳥歴史公園 奈良県明日香村	いろはに刀剣～古今東西、名刀を識る～ 太刀「石切丸」・太刀「小狐丸」など	
7月	永青文庫 文京区目白台	夏季展示「歌仙兼定登場」 打刀「歌仙兼定」など	スタンプラリー開催
10月	致道博物館 山形県鶴岡市	SAMURAIの美 出羽庄内藩酒井家ゆかりの名品 短刀「信濃藤四郎」など	
10月	京都国立博物館 京都府京都市	特別展覧会 没後150年坂本龍馬 打刀「陸奥守吉行」など	原作プロデューサーと博物館 研究員のトークショー開催
11月	ふくやま美術館 広島県福山市	阿部家ゆかりの日本刀-小松コレクションと五箇伝の名刀- 太刀「明石国行」・太刀「江雪左文字」など	
11月	佐野美術館 静岡県三島市	名刀は語る 磨きの文化 槍「蜻蛉切」・短刀「太鼓鐘貞宗」など	スタンプラリー開催
12月	長崎歴史文化博物館 長崎県長崎市	特別展覧会 没後150年坂本龍馬 打刀「陸奥守吉行」など	
2017年			
1月	福岡市博物館 福岡県福岡市	黒田家家宝展示-官兵衛ゆかりの資料展示- 打刀「へし切長谷部」・槍「日本号」など	
2月	京都文化博物館 京都府京都市	戦国時代展 - A Century of Dreams - 短刀「五虎退」など	
3月	足利市立美術館 栃木県足利市	特別展「今、超克のとき。山姥切国広 いざ、足利。」 打刀「山姥切国広」など	次項で詳細を紹介
4月	宮崎県立美術館 宮崎県宮崎市	企画展 家康没後四百年 徳川歴代将軍家宝展-久能山東照宮 太刀「ソハヤノツルキ」など	
4月	石切劔箭神社 大阪府東大阪市	春季大祭 宝物館公開 太刀「石切丸」など	夜間特別公開
4月	致道博物館 山形県鶴岡市	日本名刀展 第1部 見どころ学べる！目で観る刀の教科書 短刀「信濃藤四郎」など	スタンプラリー開催
4月	江戸東京博物館 東京都墨田区	特別展覧会 没後150年坂本龍馬 打刀「陸奥守吉行」など	
6月	阿蘇神社 熊本県阿蘇市	阿蘇神社奉納奉告祭(蛭丸伝説プロジェクト) 大太刀「蛭丸」	次項で詳細を紹介
7月	静岡市美術館 静岡県静岡市	特別展覧会 没後150年坂本龍馬 打刀「陸奥守吉行」など	アニメ設定集や原画パネル展示

時期	場所 所在地	イベント名 展示された刀剣	特記事項
7月	北野天満宮 京都府京都市	特別展 宝刀展VI 伝説の太刀「髭切」 太刀「髭切」など	
9月	丸亀市立資料館 香川県丸亀市	企画展 丸亀城築城420周年記念 武士の装い展 - ニッカリ青江特別公開 - 脇差「にっかり青江」など	ラッピング人力車
9月	石切劔箭神社 大阪府東大阪市	特別公開「よみがえる奉納刀」 太刀「石切丸」・太刀「小狐丸」	音声ガイド貸出 夜間特別公開
9月	米沢市上杉博物館 山形県米沢市	特別展 上杉家の名刀と三十五腰 短刀「五虎退」・短刀「謙信景光」など	
11月	埼玉県立歴史と民俗の博物館 埼玉県さいたま市	特別展 上杉家の名刀と三十五腰 短刀「五虎退」・短刀「謙信景光」など	
11月	石切劔箭神社 大阪府東大阪市	特別公開「よみがえる奉納刀」 太刀「石切丸」・太刀「小狐丸」	音声ガイド貸出 夜間特別公開
2018年			
1月	徳川ミュージアム 茨城県水戸市	企画展「刀剣プロジェクト成果展II」 太刀「燭台切光忠」	次項で詳細を紹介
1月	福岡市博物館 福岡県福岡市	黒田家家宝展示 - 官兵衛ゆかりの資料展示 - 打刀「へし切長谷部」・槍「日本号」など	
1月	佐野美術館 静岡県三島市	上杉家の名刀と三十五腰 短刀「謙信景光」・短刀「不動行光」など	スタンプラリー開催
2月	史跡足利学校遺蹟図書館 栃木県足利市	特別公開 秘蔵刀剣「景國」・「清光」・「安定」 打刀「加州清光」・打刀「大和守安定」など	次項で詳細を紹介
6月	岡崎市美術博物館 愛知県岡崎市	特別企画展 名刀は語る - 美しき鑑賞の歴史 槍「蜻蛉切」	
8月	熊本県立美術館 熊本県熊本市	永青文庫展示室開設10周年RKK開局65周年記念「細川ガラシャ」 打刀「歌仙兼定」	
9月	致道博物館 山形県鶴岡市	秋の特別展「刀剣と甲冑～重要文化財 色々威胴丸修復記念～」 短刀「信濃藤四郎」・槍「御手杵」	
9月	京都国立博物館 京都府京都市	特別展「京のかたな 匠のわざと雅のこころ」 太刀「三日月宗近」・短刀「後藤藤四郎」ほか多数	次項で詳細を紹介
10月	桑名市博物館 三重県桑名市	特別企画展「村正II - 村正と五箇伝 -」 「村正」作の刀など	
10月	北野天満宮 京都府京都市	KYOTO NIPPON FESTIVAL 2018 宝刀展XIII 太刀「髭切」	次項で詳細を紹介
2019年			
1月	徳川ミュージアム 茨城県水戸市	企画展「刀 KATANA第4期 備前」 太刀「燭台切光忠」など	次項で詳細を紹介
1月	佐野美術館 静岡県三島市	REBORN 蘇る名刀 脇差「骨喰藤四郎」・脇差「鯰尾藤四郎」など	スタンプラリー開催 伊豆箱根鉄道コラボ企画
2月	足利商工会議所 栃木県足利市	刀剣展「堀川國廣とその高弟」 「国広」作の刀など	次項で詳細を紹介
2月	埼玉県立歴史と民俗の博物館 埼玉県さいたま市	特集展示「国宝公開 短刀 銘景光」 短刀「謙信景光」	
5月	結城蔵美館 茨城県結城市	結城晴朝公家督相続460年祭 - 結城蔵美館 5周年事業 - 全国の「御手杵」5振り	次項で詳細を紹介
6月	丸亀市立資料館 香川県丸亀市	丸亀城石垣修復に向けてニッカリ青江公開プレミアムウィーク 脇差「にっかり青江」	
7月	大宰府天満宮宝物館 福岡県太宰府市	特別展示 阿蘇神社復興支援 - よみがえった宝刀 蛭丸 - 大太刀「蛭丸」	次項で詳細を紹介
7月	佐川美術館 滋賀県守山市	企画展 名刀は語る 美しき鑑賞の歴史 槍「蜻蛉切」	
7月	九州国立博物館 福岡県太宰府市	特別展「室町將軍 - 戦乱と美の足利十五代 -」 太刀「大般若長光」	音声ガイド貸出 グッズ付宿泊プラン販売
9月	那覇市歴史博物館 沖縄県那覇市	特別展「縞と緋の夏衣裳 / 王家の宝刀 (III)」 短刀「北谷菜切」	

時期	場所 所在地	イベント名 展示された刀剣	特記事項
9月	福岡市博物館 福岡県福岡市	特別展 侍～もののふの美の系譜～The Exhibition of SAMURAI 太刀「大典太光世」・脇差「物吉貞宗」など	音声ガイド貸出
9月	埼玉県立歴史と民俗の博物館 埼玉県さいたま市	特集展示 国宝公開 太刀・短刀 短刀「謙信景光」	
9月	致道博物館 山形県鶴岡市	特別企画展 出羽国庄内藩主 酒井家名宝 短刀「信濃藤四郎」	
12月	春日大社国宝殿 奈良県奈良市	最古の日本刀の世界 安綱・古伯耆展 太刀「石切丸」・太刀「髭切」など	
2020年			
1月	佐野美術館 静岡県三島市	名刀への道 打刀「松井江」・槍「蜻蛉切」など	スタンプラリー開催
9月	備前長船刀剣博物館 岡山県瀬戸内市	特別陳列 国宝「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」 太刀「山鳥毛」	
10月	久能山東照宮博物館 静岡県静岡市	「天下人の愛刀と写し」展 太刀「ソハヤノツルキ」	日本平ロープウェイ特別アナウンス
10月	大阪歴史博物館 大阪府大阪市	特別展「埋忠〈UMETADA〉桃山刀剣界の雄」 短刀「太鼓鐘貞宗」・打刀「桑名江」など	
2021年			
1月	北九州市立いのちのたび 博物館 福岡県北九州市	冬の特別展「名刀『博多藤四郎』の輝き 戦国を生き 抜いた武士の絆」 短刀「博多藤四郎」	
3月	北野天満宮 宝物殿 京都府京都市	特別展「北野天満宮×大覚寺－両社寺の歴史と兄弟刀」 太刀「髭切」	
3月	大覚寺 霊宝館 京都府京都市	特別展「北野天満宮×大覚寺－両社寺の歴史と兄弟刀」 太刀「膝丸」	
6月	徳川美術館 愛知県名古屋市	特別展「名刀紀行－京・大和と九州－」 脇差「鯉尾藤四郎」・短刀「後藤藤四郎」など	グッズ付宿泊プラン販売 水族館、レストランとコラボ
6月	ふくやま美術館 広島県福山市	夏季所蔵品展「瀬戸内の風景」 太刀「江雪左文字」	
7月	那覇市歴史博物館 沖縄県那覇市	特別展「王家の宝剣Ⅰ・千代金丸／空色地の紅型衣裳」 太刀「千代金丸」	
7月	福岡市博物館 福岡県福岡市	特別展「徳川家康と歴代将軍～国宝・久能山東照宮の名宝～」 太刀「ソハヤノツルキ」など	音声ガイド貸出 グッズ付宿泊プラン販売
7月	姫路市立美術館 兵庫県姫路市	特別展「日本の心象 刀剣、風韻、そして海景」 太刀「明石国行」	
7月	徳川美術館 愛知県名古屋市	夏季特別展「家康から義直へ－尾張藩誕生物語－」 打刀「南泉一文字」・打刀「五月雨江」など	グッズ付宿泊プラン販売 水族館、レストランとコラボ
7月	石川県立歴史博物館 石川県金沢市	特別展「大加州刀展」 清光の刀など	音声ガイド貸出 グッズ付宿泊プラン販売
7月	備前長船刀剣博物館 岡山県瀬戸内市	夏季特別展「武将・名家の品格－受け継がれた刀剣－」 太刀「山鳥毛」	日帰りラッピングバスツアー 開催
9月	サントリー美術館 東京都港区	サントリー美術館開館60周年記念展「刀剣 もののふの心」 脇差「骨喰藤四郎」・打刀「宗三左文字」など	音声ガイド貸出
10月	丸亀市立資料館 香川県丸亀市	企画展「名刀見参－京極家の宝刀ニッカリ青江公開－」 「ニッカリ青江公開プレミアムマンス」 脇差「にっかり青江」	音声ガイド貸出 スタンプラリー開催 ラッピング人力車 おもてなし割(市内協力店舗 でのサービス) 周遊バス1日乗車券販売 グッズ付宿泊プラン販売
10月	ふくやま美術館 広島県福山市	秋季所蔵品展 「食と美術－『いただきます』から『ごちそうさま』まで」 短刀「太閤左文字」	

③事例紹介

茨城県内の刀剣乱舞とのコラボとしては、水戸市の徳川ミュージアムと結城市の結城蔵美館を中心とした取組がある。まずこの二つの事例を紹介し、それに加えて、全国的に大きな話題となった事例を紹介する。

徳川ミュージアム（茨城県水戸市）

－ ファンのパワーが名刀の復元へ －

刀剣乱舞に登場する刀剣の展示において、おそらく初めて大きな話題となったのは、徳川ミュージアムの「燭台切光忠しよくだいぎりみつただ」であろう。

徳川ミュージアムは、水戸徳川家13代当主徳川圀順公が、伝来の大名道具や古文書類を寄贈して設立した公益財団法人徳川ミュージアム（旧 財団法人水府明徳会）の博物館として、1977年に開館した。徳川家康公の遺品を中心に家康公の子である初代頼房公、2代光圀公ら歴代藩主や、その家族の遺愛の什宝約3万点が所蔵されており、「水戸徳川家」のまとまった史料がみられる唯一の博物館である。

「燭台切光忠」は、鎌倉時代の備前長船派の光忠の作とされ、伊達政宗から贈られた刀として水戸徳川家に代々受け継がれた名刀であるが、1923年の関東大震災の際に罹災し再刃できないほど黒く焼け焦げてしまい、積極的に展示はされていなかった。

ところが、2015年1月の刀剣乱舞-ONLINE-のリリース後、徳川ミュージアムに「燭台切光忠についての記録はないか」という問い合わせが殺到した。同ミュージアムは、「罹災美術品目録」の情報と照合し、倉庫内で焼刀のまま保管していることを公表し、同年5月の「2015国際博物館の日記念ミュージアムトーク」に合わせて1日限定で燭台切光忠を展示した。その後、同ミュージアムに対して寄付が行われるようになり、同年7月から一般展示を開始すると、来場者数は通常時の5倍となった。

そして、翌2016年2月、被災した刀剣を新たに現代の名匠が再現することで、伝統文化を守り、学び伝える「刀剣プロジェクト」を開始した。また同月には、水戸の梅まつりと刀剣乱舞-ONLINE-、徳川ミュージアムがコラボした周遊イベント「水戸の武」が開催された。同ミュージアムと常盤神社義烈館や弘道館などの施設を周遊し「入場券の半券」を集めると、刀剣男士「燭台切光忠」の限定グッズがもたらされた。また水戸市内の「別春館」では、刀剣プロジェクト関連商品の梅酒が販売され、収益の一部が同プロジェクトに寄付された。

そしてプロジェクト開始から2年後の2018年1月、燭台切光忠の再現刀が完成、同月から企画展「刀剣ブ

ジェクト成果展Ⅱ」にて展示を開始した。

以降、他の地域でも、クラウドファンディングを利用した寄付によって刀剣を復元する事例が見られるようになるが、刀剣乱舞ファンと同ミュージアムによるこの事例が草分け的存在となっている。

なお、同ミュージアムと刀剣乱舞とのコラボレーションは継続しており、コラボグッズはミュージアムショップやオンラインショップで販売されている。イベントも継続的に開催されており、2017年には、水戸の梅まつりの開催時期に合わせて、アニメ「刀剣乱舞-花丸-」とJR東日本水戸支社、徳川ミュージアムを含む水戸市内施設とコラボしたスタンプラリーが開催された。描き下ろしイラストを使用したグッズやオリジナル駅弁の販売、刀剣男士「燭台切光忠」の担当声優による水戸駅構内アナウンスなどが行われた。

2018年には、前年の取組に加えて、スマホ専用のVRアプリを使用したシルエットクイズラリーやラッピング列車・ラッピングバスの運行、水戸駅構内の装飾などを実施。また、水戸のまちなかを走るバスが指定区間で乗り放題になる「水戸漫遊1日フリーきっぷ」の販売や、水戸市内のカフェにおいて「燭台切光忠」をイメージしたオリジナルメニューの提供も行われた。2019年には、前年の取組に加えて、国鉄色のE653系を使用したJR常磐線上野～水戸間の臨時快速列車「快速 燭台切光忠」が運行。車両・車内のラッピングや車内アナウンスのほか、オリジナル弁当、ヘッドレストカバーなどの特典グッズが付いたツアーチケットが販売された。

結城蔵美館（茨城県結城市）

－ 伝統工芸・結城紬の魅力も同時発信 －

結城蔵美館には、天下三名槍の一つである「御手杵おてぎね」のレプリカが展示されている。結城蔵美館は2014年5月に開館し、新たな芸術文化を創造・情報発信する「本蔵」と、歴史的、文化的資料の收藏・公開の場として活用している「袖蔵」の、2棟から構成される美術館である。

「御手杵」は、室町時代に活躍した下総国結城の大名・結城晴朝が、駿河国嶋田の刀工、五条義助に作らせた槍であり、東京大空襲により焼失したが、有志や研究者らによって復元され、結城氏初代・朝光の没後750年祭にあわせて、島田市より結城市に寄贈された。

刀剣乱舞-ONLINE-のリリースから4か月後の2015年5月、レプリカが同館に常設展示されていることがSNSなどで話題になり、「結城蔵美館 開館1周年記念イベント」として1日限定で開催された槍に

触れて記念撮影ができるイベントには、県内外から約2,000人が来場した。

2019年5月の同館5周年記念事業では、「結城蔵美術館×刀剣乱舞 -ONLINE- 特別企画」として、公式コラボを実施した。刀剣男士「御手杵」の等身大パネルや館内での新規イラスト展示、コラボグッズ販売のほか、市内の健田須賀神社や弘経寺、称名寺などを巡るコラボスタンプラリーの設置、さらに「御手杵サミット」と題し、全国にある5振りの御手杵が結城市に集結する合同展示が開催され、多くの刀剣乱舞ファンが来場した。

また、同年11月、ゲーム公式 Twitter で、刀剣男士「御手杵」の軽装（和装姿）が発表された。そのわずか3日後、結城蔵美術館にゆうき着楽会協力のもと、その軽装を模した緑色の結城紬が展示された。駅前の物産センターにも同様に展示され、結城蔵美術館の公式 Twitter には、粋なファンサービスと対応の早さに対する喜びの声、刀剣乱舞ファンから数多く寄せられていた。

展示後、結城蔵美術館には連日多くの観覧者が訪れており、結城紬を紹介する掲示板を設置するなど、結城市の伝統工芸である結城紬の魅力も同時に発信している。

栃木県足利市各所（栃木県足利市）

－ 刀剣ファンから足利ファンに －

2017年3月、栃木県の足利市立美術館で開催された特別展「今、超克のとき。山姥切国広 いざ、足利。」では、安土桃山時代の刀工・堀川国広作の日本刀であり、重要文化財に指定されている「山姥切国広」が20年ぶりに公開された。

等身大パネル展示やコラボグッズ販売、あしかがフラワーパークでのフラワーアート展示、市内のスタンプラリーなどが実施された。また、周辺の商店46店舗が参加して記念商品や記念メニューが提供されたほか、再入館可能なチケット、託児所の開設など、官民一体となった周到な準備と連携、市長自ら音頭を取った「全庁態勢」でのコラボ企画となり、現地を訪れたファンからは「神対応」と絶賛された。

最終的に、開催期間30日間に3万7820人の来場者が詰めかけた（同館の前年度年間観覧者2万4885人）。このコラボによる関連グッズ販売や、宿泊・飲食などの経済効果は4億円に上ったとされる。

さらに、同年8月、足利市一大イベントである足利花火大会を中心としたコラボ企画が実施された。期間中、市内回遊促進として刀剣男士をイメージした七夕飾りの展示、七夕カードが施設3か所で配布され、

あしかがフラワーパークでは、刀剣男士の「ボトルキップアート」が展示された。

花火大会では、足利市・（一社）足利市観光協会が「足利市×刀剣乱舞 -ONLINE- コラボ花火」を打ち上げた。これらの様子が、現地を訪れていたファンのSNS等によって広範囲に拡散され、足利市の取組内容について称賛の声が上がった。

2018年2月には、史跡足利学校において「秘蔵刀剣展」が開催され、新選組の沖田総司の愛した打刀「加州清光」と「大和守安定」などの日本刀が展示され、観覧者は1万5,000人に達した。混雑時には整理券の発行、足利まちなか遊学館の解放、案内役の職員を配置するなどして対応、各商店ではスタンプラリー、刀剣にちなんだオリジナル商品、メニューを提供した。

2019年2月には、足利商工会議所内ギャラリーにおいて、足利ゆかりの刀工・堀川国広らの日本刀11振りを展示する「堀川國廣とその高弟」が開催された。足利市産業観光部が主導し、足利商工会議所や地元商店会と実行委員会を組織、商業観光振興をメインに、日本美術刀剣保存協会県支部の全面協力を得て開催された。商工団体独自の刀剣カードや各店のオリジナルメニューの提供など、「山姥切国広」の展示以降、官民で「刀剣ファンから足利ファンに」と、刀剣を活用した関連イベントに取り組んでいる。

2022年2月からは、足利市立美術館において、足利市制100周年記念特別展「戦国武将 足利長尾の武と美ーその命脈は永遠にー」にて、「山姥切国広」が再展示されており、等身大パネルの展示や、コラボ記念グッズの販売、市内周遊モバイルスタンプラリーなどを実施している。



史跡足利学校

京都府京都市各所

－ 伝統とポップカルチャーが街中で競演 －

2018年9月から、京都国立博物館で開催された「京のかたな 匠のわざと雅のこころ」では、国宝刀剣19振り、刀剣男士のモチーフになった刀剣23振りを含む約200点が展示され、同博物館120年の歴史上初の大規模刀剣特別展となった。

本館の側にある明治古都館・中央ホールでは、刀剣男士の描き下ろしイラストや等身大パネルの展示、コラボグッズの販売などが行われ、25万人以上の観覧者が詰めかけた。

また、この特別展示に合わせ、京福電気鉄道嵐山本線（嵐電）と東映太秦映画村とのコラボスタンプラリーが開催された。嵐山駅・四条大宮駅・東映太秦映画村内に設置された計6個のスタンプを集めると、オリジナル缶バッジがもらえた。また、嵐電1日フリー切符、映画村入村券、刀剣男士たちが京の軌跡を紹介するオリジナルドラマ付記念セット券が販売された。京都市中心部の四条大宮から観光地嵐山を結ぶ嵐電の構内や駅看板が装飾され、オリジナルヘッドマークの車両が運行した。嵐山駅では刀剣男士によるオリジナルホームアナウンス、駅内の喫茶店で刀剣男士とコラボしたドリンクが提供された。スタンプの設置場所である東映太秦映画村では、ゲームの世界を再現したイベントを開催。フォトスポットや刀剣男士のオリジナルボイス、コラボフードの提供、京都の伝統工芸とコラボしたグッズの販売なども行われた。

さらに、ほぼ同時期に天神信仰発祥の地として由緒ある北野天満宮宝物殿において、「KYOTO NIPPON FESTIVAL 2018」を開催、オープニングセレモニーでは、華道家元池坊や乃木坂 46、刀剣乱舞がパフォーマンスをみせた。その中の「宝刀展 X III」では、所蔵されている「髭切」をはじめとした約40振りの刀剣の特別展示や、刀剣乱舞と華道や食の文化とのコラボなどが展開された。

加えて、これらの開催期間中に、「刀剣乱舞」宴奏会が開催され、和楽器とオーケストラによるゲームのBGMなどの演奏を映像付きで聴かせた。



阿蘇神社（熊本県阿蘇市）

－ 刀剣の復元と被災した神社の復興 －

刀剣復元のためのクラウドファンディングで、短期間で多額の資金を集めて全国的に注目を浴びたのが、岐阜県関市の鍛冶職人が中心となって企画した「蛭丸伝説プロジェクト」である。

「蛭丸」とは、鎌倉時代に作られたとされる大太刀であり、阿蘇氏の十代当主・阿蘇惟澄が多々良浜の戦いで使用し、刃こぼれでぼろぼろの状態となってしまったが、無数の蛭が刀に止まり、光に包まれるという夢を見た翌朝、刃こぼれのない美しい姿に戻っていたという伝説からその名が付いた。

その後、熊本県・阿蘇神社に奉納されるも、太平洋戦争後の混乱で行方不明となっており、同プロジェクトは、現存する資料を基に蛭丸を復元し、阿蘇神社へ再度奉納しようというものである。

2015年11月1日に募集を開始するが、刀剣乱舞ファンから「蛭丸の復活に貢献できる」と反響があり、開始からわずか5時間で目標金額の550万円を達成し、最終的には、目標金額の8倍となる4,500万円の資金が集まった。

2016年2月に、「蛭丸」の復元・玉圧（打ち始め）式が阿蘇神社境内にて行われたが、その2カ月後の熊本地震で、奉納先である阿蘇神社が甚大な被害を受けた。しかしその状況下においても、復興へのシンボルとして、蛭丸の復元は予定通り進行し、2017年6月17日、同神社にて蛭丸の完成を奉告する式典が行われた。

被災した阿蘇神社の復興に関しては、「阿蘇神社復興支援プロジェクト」として、市内の酒屋が蛭丸をイメージしたサイダーを製造・販売している。サイダーの売り上げの一部を寄付するもので、2019年2月には販売本数250万本を超え、500万円を寄付している。この情報をSNS等で知った全国の刀剣乱舞ファンは、オンラインショップや全国のアニメイト（アニメグッズ販売店）でサイダーを購入している。

また、東京ビッグサイト（東京国際展示場）で開催された「AnimeJapan 2017」では、刀剣乱舞-ONLINE-を製作したEXNOA（旧DMM GAMES）とニトロプラスより、阿蘇神社再建に向けた取り組みの紹介や、刀剣乱舞-ONLINE-×阿蘇神社チャリティーアイテムが販売された。

そして2019年7月、福岡県太宰府市の太宰府天満宮にて「阿蘇神社復興支援-よみがえった宝刀 蛭丸-」と題し、復元刀の真打（阿蘇神社蔵）と影打（ニトロプラス蔵）が同時展示された。阿蘇神社境内の復興、復旧の様子を伝える写真や「蛭丸」関連パネル、刀剣

男士「蛭丸」の等身大パネルの設置やチャリティーグッズの販売などが行われた。



おわりに

本稿では、「コンテンツツーリズム」における聖地巡礼について、中でも近年全国的なムーブメントを起こしている刀剣乱舞について取り上げた。結びとして、その特徴的な面について述べたい。

第一に、聖地が全国各地にあることである。ローマの休日の聖地はローマというように、一つのコンテンツに対する聖地は特定の地域であることが多いが、刀剣乱舞のコンテンツの元となる刀剣は、現在約100振りもあって全国各地に存在している。しかも刀剣そのものを別の会場に移すこともできる。そのため、様々な場所を訪問地化することができるし、展示する刀剣を変えることによって同じ場所で何度も集客することもできる。そういう特性からすると、「聖地」巡礼というよりは、「聖物」巡礼といったほうが適切かもしれない。

第二に、刀剣には「歴史や文化」といった地域の個性が結び付いていることである。映画やアニメなどのコンテンツによるツーリズムは、よほどの名作でもない限り、放映中や放映後にピークを迎え、その後の訪問者は減少することが一般的である。アニメの聖地巡礼において、一部の地域では作品のファンから地域のファンに移行し、リピーターを増やしている事例も見られるが、その数はそれほど多くない。一方で刀剣乱舞では、「歴史の改変を阻止する」ことがゲームのテーマであり、そもそも歴史に目が向いているため、ファンは歴史を通して地域への理解を深めやすく、地域のファンにもなりやすいのではないだろうか。刀剣男士と刀剣、地域の歴史や食文化を結び付けるスタンプラリーなどの周遊企画により、リピーターの増加が見込めると考えられる。

第三に、聖地（聖物）をファン自らが作りだしていることである。事例で紹介した徳川ミュージアムの「燭

台切光忠」や阿蘇神社の「蛭丸」などは、寄付やクラウドファンディングによって、復元・復活させたものである。かなりの金額が刀剣乱舞ファンから提供されたと考えられ、今後もこのような事例は増えていくであろう。寄付をした人は、その刀剣に対する愛着が深く、その地を何度も訪れるリピーターになることが期待できる。

最後に、全てのコンテンツツーリズムに関わることについて述べたい。冒頭にも述べているが、「現実空間とデジタル空間が切り離せなくなっている」ことを、今回様々な事例を調べてみて、よりはっきりと認識することができた。聖地巡礼やクラウドファンディングなどの情報は、驚くほど速く拡散している。今後コンテンツツーリズムを推進しようとする地域においても、デジタル空間をどう活用するかによって、成果は大きく変わるだろう。

〈参考文献〉

岡本健（編著）、コンテンツツーリズム研究 アニメ・マンガ・ゲームと観光・文化・社会、福村出版、2019

企業探訪プレミアム「企業の自分史」の軌跡

ライター兼デザイナー 富山かなえ
筑波総研株式会社 主任研究員

目次

第1章 筑波経済月報と「企業探訪」	26
第2章 企業探訪プレミアム「企業の自分史」誕生	27
第3章 制作事例と各社紹介	27
第4章 「いばらきデザインセレクション2021」への挑戦と「奨励」受賞	33
第5章 企業探訪プレミアム「企業の自分史」の展望	35

第1章 筑波経済月報と「企業探訪」

筆者はこれまで、当社が毎月発行する『筑波経済月報』のトップページを飾る「企業探訪」の取材と執筆を担当してきた。筑波経済月報（以下、月報）は、筑波銀行の取引先で、「筑波ふれあい倶楽部」にご加入頂いている有料会員様などに毎月郵送しており、発行数は、通常4,500部を数える。

「企業探訪」では、母体行・筑波銀行のお取引先の中で、“キラリ”と光る企業について、通常4ページの誌面に、企業の歴史をはじめ、経営理念、事業拡大のプロセス、企業の魅力や強み、各種商品・製品・サービス、人材育成の取り組み、今後の事業展開の鍵となるものなどについて取材したものを掲載している。なお、掲載料は無料である。

これまで、筆者が取材した企業数は、「企業探訪」を本格的に担当するようになった2015年から約85先を数える。取材時は、当社社長と筑波銀行担当支店の支店長、筆者が同席し、普段はなかなか伺うことができない貴重なお話をお聞きするほか、工場などを見学して多くの写真撮影を行っている。

取材企業の代表者から語られる話は、創業当時の苦労話をはじめ、商品・製品・サービスなどの開発秘話、自身の仕事論、事業承継、現在抱える課題など多岐にわたる。中には「筑波銀行だけが支援してくれたから今がある」と言っていただけでも、非常に嬉しく感じた経験も多い。

取材を通して、企業の代表者からは、「初代や先代

が歩んだ歴史、貫いた信念を伝える重要性を改めて感じた」「社内外に自社の歴史や理念を改めて周知することで、信頼関係の構築や会社の発展につなげたい」「中小企業は、製造や営業など利益に直結する業務に注力する傾向が高く、代表者の考えの共有や会社の歴史の記録などに、時間を割くことが難しい」など、様々な感想や意見が寄せられた。

月報発行・納品後は、掲載を大変喜んでいただき、通常は50部をお渡ししている。各社の月報の活用方法としては、「営業ツールとして活用したい」「新人採用時に利用したい」「社員やお取引先に配布したい」など様々である。

月報は、その特性上、毎月一定数の印刷しか行わない。また、「企業探訪」のほかに、県内外の自治体の首長のインタビュー、研究員レポート、外部寄稿、国内外のトピックス、県内の各種統計から読み解いた経済情勢などを掲載している。

そのため、「企業探訪」の掲載企業にとっては、部数が限られている、冊子に他の情報が載っているなどの理由から、月報を利用したアピールには限界がある。

また、直接取材をさせていただいた筆者からすると、限られた誌面の中では、取材の核となる部分を詳細に掲載する分、その他の事柄については、掲載部分が圧縮されてしまうという課題を感じていた。

『筑波経済月報』は、当社および筑波銀行ホームページにPDFデータがアップロードされているが、

パソコン上で見るデータと印刷された紙の誌面では、その重みが違うと個人的には感じている。

このような課題を感じていた時、ある数社企業の取材で、「3代目の社長となった際の苦勞と先代たちへの尊敬の念」や「事業承継をしたばかりの2代目の社長の苦惱と初代の葛藤」を目の当たりにし、何か自分にできることはないかと考えるようになった。

第2章 企業探訪プレミアム「企業の自分史」誕生

2020年の夏、社内の面接で「企業探訪」の今後について、筆者の直属の上司である部長と話し合った。その際、筆者がこれまで感じてきたことを述べた。

「企業が歩んできた『歴史』や代表者の『信念』は、企業の財産である。私はそれらを『企業の無形財産』と捉えた。そして、この財産に「デザイン」を加えて整理・保存し、今までにない『企業の魅力発信ツール』を生み出したい」。

これまで筆者は、ライターとしての経験は多く積んできたが、今後はライターと並行してデザイナーとしても活動したいと考えていた。なお、大学院ではデザイン学の修士号を取得しており、大学時代から使いこなしてきた専用ソフトの力を借りれば、企業のオリジナルの冊子制作は可能と見込んでいた。

部長からも大きな共感を得ることができ、早速、社内や親会社である筑波銀行との話し合いを進め、晴れて企画が通った。ここに、企業探訪プレミアム「企業の自分史」が誕生した。「デザインで、企業の力になりたい」。これが筆者の大きな目標となった。

「企業の自分史」という副題を付けたのには、訳がある。企業探訪プレミアムという名前だけでは、どのような企画であるか分かりにくいというのが一つ、もう一つは、社史のような使い方もできるという意味合いを出したかったことである。

企業探訪プレミアム「企業の自分史」は、企業の大切な「過去・現在・未来」を1冊にまとめた冊子である。一般的な社史のように重厚で堅苦しくなく、せっかく作っても書棚の隅にしまわれてしまうようなものではなく、企業が培ってきた歴史をいつでも振り返り、現在の魅力と課題、そして未来につなげる想いを、いつでも確認できるように、見やすく掲載している。

そうすることで、企業が、取引先や消費者、社員や就職希望者などに「広く・気軽に、渡す・読めるツール」として活用できる。これが企業探訪プレミアム「企業の自分史」の強みであり、魅力であると考えている。

第3章 制作事例と各社紹介

企業探訪プレミアム「企業の自分史」は、企業の理念をはじめ、年表、創業時などの古い写真、現在の工場や社屋、製造工程、作業風景などの写真や図面、各種製品・商品などの説明、事業拡大のプロセスを示す資料や図表、そして最後に、代表者の未来へのメッセージと直筆サインを掲載している。B5サイズ、16頁、フルカラーを基本にしているが、お客様のご要望に応じて柔軟に対応させていただいている。

2020年9月から、前述の部長とともに営業活動を開始した。実は筆者、営業活動を行うことは、人生初の経験であった。一方、部長は筑波銀行で支店長を歴任していたため、大変心強く、営業活動において、部長からの学びが多くあった。

営業先は、筑波銀行のお取引先である。当企画をご説明すると、ほとんどのお客様から「良い企画だ」という言葉をいただくことができた。しかし、契約に至るかどうかは別問題である。丁寧に説明を重ね、時に筑波銀行の支店長などにも協力を仰ぎ、徐々に契約数を伸ばしていった。

ここからは、当社が制作させていただいたお客様を一部紹介させていただきたい。

株式会社コダイラ

本社：栃木県鹿沼市さつき町13-3

事業内容：鉄道車両先頭部の製造・各種金属加工

栃木県鹿沼市に本社を置く株式会社コダイラ様は、鋼板（金属の薄板）をハンマーで叩いて伸び縮みさせ、曲面など立体的な形状を生み出す「叩き出し技術」による精密鍛金を得意としている。

同社は、日本の鉄道史に残る各種鉄道車両の先頭部を数多く製造してきたパイオニアである。各技術を未来永劫、鹿沼の地に残し続けるため、常に新しい技術を取り入れ、時代に沿った企業へと成長し続けている。

同社との出会いは、先述の「企業探訪」の取材である。初代社長小平隆一様の事業承継への葛藤や現社長の小平三知恵様から今後の展望などをお聞かせいただいた。

誌面では、50周年記念誌として、同社が培われてきた高い技術の魅力、創業から現在まで携わってきた車両などの写真、現在の工場や事務所の様子を撮影した写真、先代の未来へのメッセージなどを掲載した。

表紙は、列車の先頭から見た風景から始まり、裏表紙は、「桜の花道」に見立て、満開の桜に包まれた線路の写真に掲載した。これは「あとは任せた」という先代の想いを表現させていただいたものである。

東神電池工業株式会社

本社：茨城県水戸市城東1-4-4

事業内容：電源システム・自動車電装・LINE-X 事業

茨城県水戸市に本社を置く東神電池工業株式会社様は、1950年に設立し、長年、バッテリーや産業用蓄電池などの納入・施工を一手に引き受ける“茨城県内の電気設備施工のパイオニア”として名高い。

2012年、先代から経営を引き継ぎ、同社の3代目の社長となった永井様は、「人の喜び」こそ、事業発展の活力である、と語る。

今後、同社は、長年培ってきた電気設備施工の高い技術力と新事業「LINE-X」、そして、柔軟な発想力と機動力を掛け合わせ、次代に通用する「総合電機会社」へと昇華していくことを目指している。

同社との出会いも「企業探訪」であった。今回は70周年記念誌として、制作のご依頼を受けた。特に印象的だったのは、社長の永井様がいつも初代である祖父の古い写真を持ち歩いていたことである。初代、先代から受け継いだ想いを、次の時代につないでいきたい、そう強く願うお姿に、大変感動した。

また、同社が掲げる「基本的価値観」から4文字を取った「他喜剛心」という言葉について、当冊子制作を機に、プロの書道家に依頼して書いていただいた、とても芸術的な文字を冊子の最後のページに掲載できたことも大変感慨深い。

のぐち園本店[®]

本社：茨城県坂東市逆井2833-11

事業内容：さし茶製造

茨城県坂東市に本社を構えるのぐち園本店[®]様は、明治時代から続くさし茶の老舗である。同園が作り出すさし茶は、農林水産大臣賞を受賞している。また、過去には、同園の深むし茶を天皇皇后両陛下がお召し上がりになったこともある。

110余年の歴史を刻む同園の製造工場では、古くから使われてきた製造機をはじめ、量産化に対応した製造機などが多数設置されており、3代目園主、野口様とご家族が、試行錯誤しながら事業を拡大されてきた深い歴史を感じることができた。

同園のお茶に長年親しむファンは多い。現在は、通信販売も行っており、ファンの方が届いたお茶と一緒に、同園が紡いできた歴史と文化を届けたいという想いで、冊子を制作させていただいた。また、裏表紙には、同園オリジナルのショッピングバックの柄を掲載させていただいた。

雨引山楽法寺 雨引観音

本社：茨城県桜川市本木1

茨城県桜川市にある雨引山楽法寺様は、真言宗豊山派の寺院、坂東三十三観音霊場第二十四番札所であり、通称「雨引観音」と呼ばれている。

住職の川田様は、年間を通じて“観音様の優しさ”にお会いできる寺院であり続けたいと願われており、境内では、観音様の優しさのシンボルである動植物の命の輝きに触れることができる。

以前「企業探訪」の取材をさせていただいたご縁があったことから、ご提案を申し出た。同寺が希望する冊子のサイズは横長で、ページ数も24と既存のフォーマットをカスタマイズしたものとなった。

誌面は、安産・子育ての寺院として知られる同寺を象徴するように、トップページに生まれたての赤ちゃんの写真を配置し、その子が観音様に見守られながら成長していく過程と、境内の移り行く美しい季節や動物たちの風景を織り交ぜた構成とした。

また、誌面の中には、元盛上人が残された「親の心得十か条」を掲載している。取材を通して、住職が日本の宝である子どもたちの健やかな成長を願われる、一つひとつのお言葉を拝聴できたことは、大変喜ばしく、大変貴重な体験をさせていただいた。この場を借りて、感謝申し上げたい。

大建鋼業株式会社

本社：茨城県古河市前林1704

事業内容：鉄骨・木造建築工事、土木工事一式、建築・土木の資材の販売等

茨城県古河市に本社を置く大建鋼業株式会社様は、長年の実績と信頼から、大手ゼネコンなどから依頼を受け、建築物などの鉄骨の設計・製造を行っている。

同社からのご要望は、既存のパンフレットを刷新したいため、企業案内の要素も取り込んでほしいというものだった。

そのため、企業探訪プレミアム「企業の自分史」としては初めて、設備機器や認定書の一覧のほか、工場内の図面を掲載した。しかし、B5版の見開き、つまりB4版でも、図面の文字が見づらい。そこで、大きさも初めてA4版を採用、さらに掲載するものが増えたため、既存の16ページでは収まらず、20ページとなった。

表紙は「鐵人」の一文字ですっきりと仕上げ、職人の方が溶接や組み立てなどを行う姿を誌面に収めほか、施工事例や会長の北島甚一郎様、社長の北島勉様からの心温まるメッセージを掲載させていただいた。

株式会社ニッケン

本社：茨城県つくばみらい市筒戸字諏訪1810- 2
事業内容：アッセンブリー事業、ピッキング事業、フラワー事業

茨城県つくばみらい市に本社を置く株式会社ニッケン様は、「真心の手のぬくもりを技術に変える」をモットーに、アッセンブリー事業をはじめ、ピッキング事業、フラワー事業を展開している。事業所は谷和原本社・事業所をはじめ、岩間事業所・物流加工センター、境事業所、県内4か所にある。

同社とのご縁は、毎月発送している『筑波経済月報』に同封した企業探訪プレミアム「企業の自分史」のチラシであった。筑波銀行の取引店を通して、記念誌兼事業紹介パンフレットとしてご活用いただける冊子制作のご依頼を受けた。

取材では、社長の蛸原様から、事業拡大の苦労話やご家族の事、娘であり次世代を担う同社専務の佐藤様に託したい想いや願い、また、佐藤専務からは他業界を経験したからこそ新たな視点や工夫、新事業の立ち上げ経緯や今後の展望についてお聞かせいただいた。

同社の冊子の表紙は、お二人のツーショットを掲載した。これは、今後、事業承継を行った際や営業活動の際に、取引先などにすぐ顔を覚えていただけるようにという想いを込めた。そして何より、お二人の笑顔が素晴らしかった。この笑顔が同社の歴史を作り出してきたのだと、筆者は感じている。

ナチュラルペットフーズ株式会社

本社：茨城県桜川市間中512-27
事業内容：小鳥・小動物フード、配合飼料製造卸・輸出、ペット用品、生体販売

茨城県桜川市に本社を構えるナチュラルペットフーズ株式会社様は、日本で初めて「鳥種別」のフードを開発・販売した企業である。現在では、鳥種別のフード販売が主流であり、その礎を築いたのが同社である。

同社が販売するフードの素材原料は高品質なものが多く、家族の一員であるペットの健康と快適な生活を守るため、日々、企業努力を続けている。

同社とのご縁も企業探訪プレミアム「企業の自分史」のチラシであった。取引店を通してご用意いただき、30周年記念誌として、作成させていただいた。

誌面では、社長の小川様がこれまで歩まれてきた歴史や思い出深い写真の数々を掲載したほか、同社のヤンバルクイナ保護活動に関する内容も織り込ませていただいた。

特定非営利活動法人 後見人センターとちぎ

本社：栃木県宇都宮市桜2- 5-31
事業内容：財産管理、身元保証人・引受人の受託、見守り、家事等生活支援手配、任意後見、死後事務、遺言書作成、遺言執行人、尊厳死宣言書作成など

栃木県宇都宮市に事務所を構える特定非営利活動法人 後見人センターとちぎ様は、おひとりさまが「安心して暮らせる老後」と「安らかな最期」を迎えるための活動を展開している。

理事長である大野様は、長年、葬儀社を営んできた中で、お連れ合いを亡くされたおひとりさまの身の上に生じる困難を目の当たりにされてきた経験から、同センターの立ち上げを決意された。

取材では、これまで大野様をご経験されたエピソードや同センターの存在理由、筑波銀行などと連携した「後見信託[®]」の取り組みなどについてお聞かせいただいた。

筆者が特に印象的だったのは、「グリーンケア」（悲嘆ケア）である。日々、生と死に向き合う方への心のケアは、非常に大切であるということ、取材を通して身に染みて感じた（実は号泣しながらの取材であった）。

同冊子を活用し、一人でも多くのおひとりさまが安心して余生を暮らせるきっかけになることを願うばかりである。

ここからは、「お客様満足度アンケート」などでご回答いただいたお客様からの感想などを掲載していく。

「人生の総決算が、お客さんにパンフレットを通じてお知らせ出来て、大変光栄であり、嬉しい限りです。ありがとうございました」
「伝統あるパンフレットに仕上がりました」
「とても明るく希望の湧く仕上がりになりました。ありがとうございました」
「担当者は話もしやすく、打合せ時でも何となく完成した映像が見えるようでした」
「今般ご縁があって当社の冊子を作成することになりましたことは、私どもにとりましても、社内の歴史、記憶を辿ることができましたこと、ご担当いただいた方のお仕事への姿勢、取り組み方、向き合い方などを拝見し、仕事とは本来こうあるべきなのだと思わせていただいた貴重な時間でもありました」
「これからも企業永続していくことに貢献したいと強く思いました」
「こちらの要望が多かったにもかかわらず、丁寧に対応してくださり、ありがたかったです」

《誌面紹介1 (各社一部抜粋)》

株式会社コダイラ様



日本の鉄道史に残る
車輛製造のバイオニア

当社は現在では、関東近郊を走る列車や貨物列車など、日本の鉄道史にその名を残す各種鉄道車輛の生産及び特殊車輛の製造に集中し、独自の製造技術と品質の向上を追求し、製造技術の向上に努めています。

車両の製造設計は、非常に複雑な計算を行います。しかし、製造過程に組み立てても、鋼板の厚みや歪みで高さがズレたり、歪みや割れが生じてしまうことがあるため、加工には細心の注意が必要です。

当社の技術者は、鋼板の特性を見極める上で、まず鋼板を伸ばすことで歪みを戻し、その後、ハンマーで叩き出しの作業を繰り返して、美しく強い、理想の形を完成させていきます。



東神電池工業株式会社様

東神電池工業株式会社
沿革

- 昭和20年 加代、永井兄弟が東神電池株式会社を設立、東京府中野区小宮町で創業
- 昭和22年 加代、永井兄弟、永井昌雄氏が、東神電池工業株式会社を設立
- 昭和29年 東京府中野区小宮町を開設、東京府葛飾区東船場を移転
- 昭和31年 三菱電機株式会社特約店となる
- 昭和32年 三菱電機株式会社特約店となる
- 昭和33年 日本電子の研究所(株)、日本電子の研究開発機構(株)設立となる
- 昭和42年 加代、永井兄弟が東神電池工業株式会社を設立
- 昭和46年 日本電池株式会社(現、株式会社DO)のグループ会社となる
- 昭和51年 茨城県一宮町(現、茨城工業団地)の新工場を完成
- 昭和57年 茨城県電気工業会理事となる
- 平成10年 二代目、永井昌雄氏が代表取締役社長に就任
- 平成16年 株式会社DOのグループ会社となる
- 平成18年 株式会社DOのグループ会社となる
- 平成24年 三代目、永井昌雄氏が代表取締役社長に就任
- 平成27年 宇都宮工業団地(現、DO工業団地)を開設

東神電池工業株式会社
未来へのメッセージ

私の願いは、「100年企業」を目指し、当社が今後も成長し続けることです。その実現のためには、自社に関わって頂いている全ての皆さまに、感謝の気持ちを込めてお礼申し上げます。そして、皆様と共に歩むことが、当社にとって最大の喜びです。

私は1940年に生まれ、激動の日本経済の中で、自社の代目として成長してきました。心算の経営で経営を続けてまいりました。そして、3代目に事業を引継ぎ、2020年、創業70周年を迎えることができました。

私の会社での事業承継には、信念や覚悟という精神的な部分の継承が最も重要です。僕は、息子に私の信念を継承していただくことを心願して、しかし、100周年を迎えるまでには、心の深い部分での繋がりを感じることができたと感じています。

私は会社を継ぎたい。それは私が子や父も、継ぎたいという思いです。100年企業への思いは、私の魂を、何となく感じています。

代表取締役社長
永井晴彦

私が通ってきた道は、それは結果が伴った道です。例え、目標に1000人の職が広がるにしても、100人、1000人、10000人の職が広がる道は、私は目指していません。結果は伴っていません。

社員の仕事と事業の発展は、我々一体です。僕は、進歩的な社員を育ててきました。2020年10月に東神電池工業株式会社、茨城事業と合併して東神電池工業株式会社への道を歩み始めました。

僕の仕事の中心は「他者への思い」。いい仕事は他者への思いで成り立ち、そしていい仕事はいい仕事に成ります。

実はこの言葉は、父への感謝の気持ちから始まりました。当時、父は自分の気持ちを言葉にできなかったけれど、自らが行動して頂いていました。その心算(結果)を私が受け継ぎました。今後は「結果」の歩みを進めたい。他者への思いで歩みます。

代表取締役社長
永井忠弘

のぐち園本店® 様

開拓精神を持ち続け
「200年企業」へ

「のぐち園本店」は、明治、大正、昭和、平成、令和と110年間の歴史。200年の歴史から「美味しいお茶」を生み出す。製造技術の研鑽はもとより、経営の革新に努めてまいりました。

「お茶業」の発展として、先代が培ってきた歴史と技術と伝統を継ぎ、4代目、5代目と永年(継いで)いる。代々の発展に貢献し、確固たる歴史を築き上げてまいりました。

「開拓精神」を持ち続け、家にお茶のために美味しいお茶を生み出す。150年、200年と続いた企業となるために、のぐち園本店® 独自の香り味を守り続けてまいりました。

のぐち園本店
代表
野口正夫

野口園本店

《誌面紹介 2 (各社一部抜粋)》

雨引山楽法寺 雨引観音様



大建鋼業株式会社様



大建鋼業株式会社
社長へのメッセージ

私は昭和9年に生まれ、終戦前後には、明日
第一の物産が欲しいという激動の時代を過ごして
きました。戦争中は毎日食料不足の苦しみ、戦後で
入社した対工三務店(当時三務製鋼所)で約
10年間、大工仕事の現場で働き、肉體と
精神の両方を鍛え上げました。

昭和44年、28歳の時に、信頼の置ける友人の
神田君に大建鋼業株式会社を設立しました。
神田君は経営力に長け、人材には厳正に
厳し、私は技術のべっぴん女としての
職務を遂げ、事業を拡大してまいりました。

おかげで、現在では大手ゼネコンからの依頼
も増え、売上が伸びています。平成17年、
長年の勤に事業を譲りました。その時、社長
の心算は、昔はあつちの社長さん、事業
作成を頼む、感謝を伝えたいという思いです。

当社は、令和元年に、設立50年を迎えました。
神田君の遺志は不承ですが、社長としての、結果
としては、現代の感覚を持って、事業を遂げては
います。

大建鋼業株式
北島 一郎

私は、幼い頃から父の職(鋳工)を見てきました。
父が仕事で帰らない日は、専ら子供を育てる
仕事で、お母さんがお父さんの仕事を継ぎ
受けました。

モノづくりの現場は、『品質は命』という
イメージが強いのが残念なことに、目的
の達成と品質の両方を保つて、
お客様に満足いただける仕事を一つひとつ、
心掛けて丁寧に作り上げ、最高の品質で
ご提供しています。その品質は高品質な
会社の業績に反映されています。

当社は大きな運送物に使う機軸を製造している
ため、正確なスケジュールが必須となります。
お客様、作業工程の改善など、ご自身の
職責を担い、新工場の建設も視野に入れて
いきたいと考えています。

これまで、神田君の経営の手腕に感
服し、50年の歩みを感じておりました。
今後は、次の50年を担い、社員と共に、
ともに精進してまいります。

大建鋼業株式
北島 勉

《誌面紹介3（各社一部抜粋）》

株式会社ニッケン様

真心の手のぬくもりを技術に変える
株式会社ニッケン





品質方針
「手のぬくもりを技術に変えて」
をモットーに、確かな品質で、
お客様から信頼される
生産活動を推進する



ナチュラルペットフーズ株式会社様

企業理念と
事業拡大のプロセス

ナチュラルペットフーズ株式会社

企業理念
人とペットがより信頼し合える環境づくりをサポートし
豊かな想像力をもって活動を行い
社会的責任を果たし社会貢献に努める。

経営基本方針
つねに挑戦する気持ちをもって仕事に誇りを持ち
社員が成長し信頼し合える組織づくりにつとめる。

ナチュラルペットフーズ株式会社
代表取締役社長
小川 進弘

日本初
「鳥種別」のフードを
開発・販売

私は愛媛県内のスーパーマーケットで勤務していた時、現在と同業種の企業にヘッドハンティングされ、同社で10年間の経験を積み、その後、分業の時、あることがきっかけで、転職を決意しました。

当時、日本の流通業界は大きな変革期を迎え、私は消費者の多様なニーズに対応していかなければならないと痛感しました。

ペット販売店においても、販路まで行われていた「単品販売」から、愛媛店の「セルフ販売」に変わっていくを感じ、小鳥フードも単品販売からセルフ販売に対応した事業を講じることが必要だと感じました。

そこで私は、専門性（一目見て分かる鳥種別フード）を持った商品開発が必要であると会社側に働きかけたのですが、なかなか受け止めてもらえず、理解していただけなかったため、会社を辞すことを決意しました。

鳥種別フードの開発、販売を始めたのは、自らが日本で最初でした。現在では、フードの販売の主流は、鳥種別です。今後は、社会環境が変化の中で、小動物関連のフードも開発、製造、販売していく予定でございます。



NPO 法人 後見人センターとちぎ様

特定非営利活動法人
後見人センターとちぎは
「安心して暮らせる老後」と
「安らかな最期」を
迎えるための仕組みづくりに
取り組んで参りました

あなたが、ご自分の意思で
今後の人生を「デザイン」し
「私らしく」「孤立することなく」
「楽しく豊か」に生きていただきたい
と、職員一同、強く願っております

安心して暮らせる老後を
迎えるために
「今、あなたができること」
「今、私たちができること」
と一緒に考えてみませんか

特定非営利活動法人
後見人センターとちぎ
職員一同



親戚に頼れない、身寄りがない
ご高齢のおひとりさまのために
「後見人センターとちぎ」が寄り添います

- 病院の入院、高齢者施設への入居（保証人・身元引受人）
- お金の管理（病院、高齢者施設などへの支払い）
- 任意後見契約（「認知症」「寝たきり」になった時のお手伝い）
- 施主代行
 - ① 死亡届け ② お寺、葬儀社への連絡 ③ 家族、友人への連絡
 - ④ 施主代行 ⑤ 水代供養、納骨 ⑥ 遺品整理 ⑦ 諸手続き、諸支払い

安心して財産を預けられる
新しい仕組み「後見信託[®]」を構築しました



「筑波銀行」「税理士事務所」「信託会社」
「後見人センターとちぎ」の4社が協力し、
あなたの財産をきちんと管理します

- 財産は、信託会社と筑波銀行でしっかりとお預かり
- あらかじめ、月々に必要な金額を決定し、毎月決められた金額だけを使用（定額返金システム）
- 病院や老人ホームなどの施設・在宅介護の費用などの月々の支払いは、後見人センターとちぎが、しっかり実行
- お金の使い道は、税理士事務所がしっかり監査し、ご報告

第4章 「いばらきデザインセレクション2021」への挑戦と「奨励」受賞

制作過程で経営者の様々な想いと企業探訪プレミアム「企業の自分史」におけるデザインの可能性を感じ取り、筆者は当社を代表して「いばらきデザインセレクション2021」に挑戦し、「奨励」を受賞することができた。

審査委員からは「重厚な本になりそうな企業史をコンパクトな冊子にまとめ、人材育成や採用ツールとしても生かそうとする画期的な取り組み。綿密な取材によって深掘りされるコンテンツの一層の充実やシリーズ化を期待する」という評価をいただいた。

34/ [2021年度 奨励] 企業探訪プレミアム「企業の自分史」

奨励



出典：「茨城県デザインセンター」ホームページ

ここからは、「いばらきデザインセレクション」の事務局を務める茨城県デザインセンターおよび、同センターを立ち上げた茨城県産業戦略部産業政策課からの回答をもとに、「いばらきデザインセレクション」の概要などを記していく。

(1) 「いばらきデザインセレクション」とは

「いばらきデザインセレクション」は、2005年、茨城県内の中小企業やデザイナーなどのデザイン開発意欲の増進を図り、茨城県のブランド力の強化と魅力度アップを図ることを目的として、茨城県が実施する事業の一環として開催されたものである。

その事業とは、1997年に創設された茨城県デザインセンターが毎年開催している「いばらきデザインフェア」である。「いばらきデザインフェア」は、茨城のすぐれたデザインを推奨し、県内外に発信することに

より、地域産業の発展を支援しようとするものである。

「いばらきデザインセレクション」に応募し、選定や奨励を受けると、選定証が授与されるほか、「いばらきデザインフェア」や「選定カタログ」によって県内外へ広くPRされる。また、いばらきデザインセレクション「選定マーク」を販売促進などに利用することもできる。

(2) 「いばらきデザインセレクション」が目指すもの

「いばらきデザインセレクション」が目指すもの、それは、デザインを通して、茨城県の社会活動や経済活動が活発になること、つまり、茨城県のブランド力の強化と魅力度アップである。

「デザイン」は、日本語で言い表すと「意匠」となるが、大事な点は「意」、すなわち「心」である。近年、デザイン思考、デザイン経営などの概念が聞かれるようになり、デザインが持つ特異性や機能が世界的に注目され、広くビジネスや医療現場などにも活用されるようになってきている。県は「よりすぐれたデザインの創出を目指す多くの県民の皆様とともに、心のあるデザインの振興活動を行って参ります」とする。

また、選定品については、販売促進や販路拡大といった効果も期待されている。また、「いばらきデザインセレクション」に挑戦することを毎年の目標としている企業があるという。デザイン開発を通して、企業活動が活性化し、ブランドが育成され、ひいては従業員の就労満足度の向上につながっている事例である。

なお、一度きりの挑戦でも同様の効果が見られたケースは多々あるといい、販売促進のほか、モノをつくる人・デザインする人のモチベーションアップにもつながっている。実際、茨城県が選定事業者に対しアンケート調査を行った結果、57.7%が「意欲向上につながった」との回答があったという。

(3) これまでの開催回数と選定総数

「いばらきデザインセレクション」は、2021年で、17回目の開催となった。毎回100件を超える応募があり、2021年は131件の応募があった。選定総数は、奨励を含め、554件、2021年の選定数は43件となっている。

(4) 応募部門と資格、審査委員の特徴

「いばらきデザインセレクション2021」の応募部門および応募資格は次頁の通りであった。

また、審査委員は、応募のあるプロダクト、グラフィック、空間・建築、ソーシャルデザインのそれぞれの分野の専門家であり、茨城にゆかりのある、また地域振興に対して厳しくも温かな眼差しを持った審査委員が揃う。

応募部門

《製品・工芸部門》

工業製品等のデザイン、木工・陶芸・漆器・石工・織物等の工芸製品

《パッケージ・グラフィック部門》

食品や日用品、青果等のパッケージ、ポスターやパンフレット等のデザイン

《空間・建築部門》

住宅や商業施設、公共施設等の空間及び建築物のデザイン

《ソーシャルデザイン部門》

イベントや活動、サービスや仕組みのデザイン、ビジネスモデルに関するブランディング、広告、WB、アプリ、映像、その他のデザイン

応募資格

中小企業、団体、個人事業主等

応募部門・資格 (2021年の場合)

(5) 2021 度の応募作品の特徴

選定を受けた作品は、地域や社会をより良くしたいというアイデアが感じられるものであったり、茨城らしい背景やストーリーを有しているもの、新型コロナウイルス感染症といった喫緊の課題にデザインでチャレンジしているものなどが高く評価された。

また、2021年度の応募作品の特徴として、そのデザイン対象に閉じているものではなく、地域や社会をより良くしたいというアイデアが感じられるものが多かった。

例えば、個人住宅であっても、新しいライフスタイルをいばらきから提案していたり、周辺地域にポジティブな影響を与えたりする作品である。倫理的、公益的、社会的なアイデアが視覚化された。

(6) 茨城県内の産業・デザインへの効果・影響

茨城県内の産業・デザインへの効果・影響として、以下のような回答をいただいた。

「『いばらきデザインセレクション』の応募件数は、増加傾向にあり、県内企業のデザインへの関心が高まっていると感じております。また、当セレクション審査員からは、年々選定作品のクオリティ・レベルが高くなってきているとの評価をいただいています」。

また、「過去に選定を受けた事業者様を対象に行ったアンケートでは、選定後、売上が上がったと回答した事業者様は19.2%となりました。他にも、『問合せが増えた』『取り扱い先が増えた』など、約70%の事業者様が、何らかのプラスの効果があったと実感しています」と振り返る。

「また、『いばらきデザインセレクション』選定品については、他の様々な賞を受賞したり、選定製品の販売数や受注数の増加、さらには販路の拡大につなが

ていると伺っています」とした。

企業が「いばらきデザインセレクション」に応募すること、また、選定や奨励を受けたことで、社内の活性化や販路拡大につながっていることは、大変素晴らしい。筆者自身も応募の際、改めて企業探訪プレミアム「企業の自分史」の強み、魅力を再確認することになったことは、大変印象的である。

(7) 現在の課題と今後の展望

「いばらきデザインセレクション」の課題として、茨城県は「選定品のPRを推進し、販売促進に取り組んでいくことが今後の課題と捉えております。そのためには、『いばらきデザインセレクション』自体の情報発信力を強化していくことが重要だと考えています」とした。

また、今後の展望として、「現在の課題にも関わることですが、『いばらきデザインセレクション』の情報発信力を高め、知名度を上げることで、選定や奨励を受けられた事業者様のデザインのPRと販促を力強く支援していきたいと考えております」と語った。

(8) 「茨城県デザインセンター」について

茨城県デザインセンターは、県内中小企業やデザイナーなどを対象に、商品企画などのデザイン活動を総合的に支援するため、ひたちなか市にある株式会社ひたちなかテクノセンター内に設置されている。

主な活動内容は、①デザイン相談、②デザインセミナー／ワークショップの開催、③いばらきデザインセレクションの運営、④いばらきデザインフェアの運営の4つである。



武弓 倫子
Takyu Tomoko
役職 チーフデザインコーディネーター



大平 久美子
Ohira Kumiko
役職 デザインコーディネーター

茨城県デザインセンターの様子 (上) とコーディネーター (下)
(出典: 「茨城県デザインセンター」 ホームページ)

(9) 事務局としてアピールしておきたいこと

「いばらきデザインセレクション」の事務局として、茨城デザインセンターに在籍するコーディネーターの方に、事務局としてアピールしたいことを伺った。

「どんなに素晴らしい商品でもその良さを伝えるメッセージやビジュアルがないと理解してもらえないものです。何をどう伝えるのかは大変迷うところだと思いますが、事務局が丁寧にサポートいたしますので、ぜひ『いばらきデザインセレクション』にチャレンジしてください。」

「たとえ惜しくも選にもれたとしても、その後、当センターの事業の一つである『デザイン相談』を通し、ブラッシュアップすることができます。実際、再チャレンジで『奨励』を受けた商品もあります」

「コロナ禍で前回、今回ともに中止になっていますが、例年ですと、表彰式の後に交流会が催されます。審査委員から直にコメントをもらったり、他の選定事業者の皆様と意見交換をしたりできる貴重な機会となります」

なお、デザイン相談は予約制であり、同センターのホームページから申し込むことが可能である。

(10) 企業探訪プレミアム「企業の自分史」への激励

最後に、同センターのコーディネーターである大平様から企業探訪プレミアム「企業の自分史」への応援メッセージをいただくことができた。

「企業探訪プレミアム『企業の自分史』は、とても素晴らしい取り組みです。企業の歴史を残し、伝えることは、創業の想いを現在と未来のために活かすことだと思います。私がかつて取材した方ですが、先代の取材記事を自分の『指針』として職場に飾っている方がいました。不確実性の時代と言われる今、企業探訪プレミアム『企業の自分史』のような羅針盤を社員の皆様や地域の皆様が手軽に読めるカタチでつくっていくことは大変意義があると思います。これからも応援してまいります」。

大変ありがたいお言葉をいただき、この場を借りて感謝申し上げたい。今後もご期待に沿えるよう努力していきたいと改めて思った。

第5章 企業探訪プレミアム「企業の自分史」の展望

最後に、各社の取材や誌面デザインに関して、印象的だったエピソードなどをまとめて終わりにしたい。

- ・A社では、先代がこれまで誰にも言えなかった苦勞や葛藤を、取材が終わる直前にお話しして下さった。「これだけは言っておきたい」「次の世代に伝えておきたい」という想いを強く感じる事ができた。
- ・家業の場合、社長や会長などが親子関係であること

が多い。しかし、親子であるからこそ、「事業を継承してくれたことへの感謝を伝えることが照れくさい」、「これまで親が苦勞してきたことや大切にしていた想いを知らなかった」などの声が聞こえてきた。企業探訪プレミアム「企業の自分史」の取材や誌面を通して、お互いの想いを確かめ合ったり、感謝を伝え合うお手伝いできたことは、デザイナーとして嬉しいことである。

- ・「未来へのメッセージ」を伺った際、「これは私の遺言です」と涙をうつつら浮かべながら、話して下さった方がいた。これまで誰にも言えなかったが、文章として誌面に残しておきたいという強い想いを感じ取り、大変嬉しく、また、背筋の伸びる想いだった。「その想いが後世まで伝わるよう、全力で冊子制作に取り組みます」。そう心に誓った瞬間だった。
- ・企業探訪プレミアム「企業の自分史」は、営業・販促ツールだけでなく、人財育成・採用ツール、記念誌などとして、パンフレットなどの既存資料と一緒に幅広く活用できる利点がある。B社では新年の挨拶回りの際に活用されたと伺った。また、C社では自社アピールのために冊子の販売を開始している。
- ・企業探訪プレミアム「企業の自分史」は、業種、業態、業歴に関係なく作成が可能であり、企業の節目毎に作成することで、最終的に重みのある「社史」へと発展できる。現在、当社ではベンチャー企業からも受注を受けている。日々業務に追われる中小企業が、自分たちが歩いてきた歴史やその時に描いていた夢を定期的に冊子として残していくことは、企業の無形財産を取りこぼしなく次の世代に紡いでいくことにつながると信じている。
- ・D社では、取材には同席していなかったご家族の方が、完成した冊子の「未来へのメッセージ」を読んで涙を流しながら感謝を伝えて下さった。そのお姿は、企業探訪プレミアム「企業の自分史」の存在意義を確かなものにして下さったと感じている。

初代や先代が歩んだ歴史や貫いた信念を、次の世代に伝えていきたいとお考えの企業様、普段の業務に追われ、自社の歴史をなかなか整理できず悩んでいた企業様は、ぜひ、企業探訪プレミアム「企業の自分史」の制作をご検討いただくと幸いです。

今後は、企業探訪プレミアム「自分史」の一層の充実化を図るほか、企業探訪プレミアムとしての様々なシリーズ化を図り、デザインを通して、企業様、そして、茨城県の活性化に少しでも貢献できるよう引き続き精進していきたい。

ご参考

バックナンバー

調査情報誌	レポート
筑波銀行 調査情報 2012年1月号 No.33	・茨城・栃木における地域ブランド力向上に向けた取り組み
筑波銀行 調査情報 2012年4月号 No.34	・清酒製造業の現況と老舗企業の革新への取り組み －茨城・栃木両県を中心に－
筑波銀行 調査情報 2012年7月号 No.35	・日立・ひたちなか地域の「ものづくり」中小企業の特徴とサバイバル戦略の方向性 ・東日本大震災被害地における新たな「まちづくり」の息吹き －宮城県南三陸町の事例を中心に－
筑波銀行 調査情報 2012年10月号 No.36	・再生可能エネルギーの可能性と利用拡大に向けた取り組み －茨城県における取り組み事例を中心に－
筑波銀行 調査情報 2013年1月号 No.37	・茨城における新時代対応型中小企業 －経営革新への取り組み事例（その1）－
筑波銀行 調査情報 2013年4月号 No.38	・首都圏近郊の賑わいある「まちづくり」の取り組み －柏市における「まちづくり」の特徴と仕掛け人たち－
筑波総研 調査情報 2013年7月号 No.39	・地方自治体における「地域ポイント制度」の新展開
筑波総研 調査情報 2013年10月号 No.40	・「同時多発型・笠間モデル」 －笠間市の先進的で多様な地域活性化への取り組み－ ・「ギャラリーロード」で見られる革新的な「まちづくり」の取り組み －笠間焼産地における「産地革新」との係わり－
筑波総研 調査情報 2014年1月号 No.41	・ASEANの中心国・タイの投資環境と日系中小企業の進出状況
筑波総研 調査情報 2014年4月号 No.42	・「地域活性化」における「地域の酒」の効用 －茨城県の取り組み事例と課題を中心に－
筑波総研 調査情報 2014年8月号 No.43	・「地域活性化」における「女性力」 －茨城県における女性活躍事例を中心に－
筑波総研 調査情報 2015年2月号 No.44	・「ザ・ヒロサワ・シティ」の夢 －茨城県筑西市における“郷（まち）づくり”事業－ ・「地方創生」における「シニア活躍」の重要性
筑波総研 調査情報 2016年3月号 No.45	・44のいばらきの魅力あるまちづくり ・多様な選択肢が、多様な生き方・働き方を創る フィンランドの事例に学ぶ男女共同参画に関する考察 ・つくば初ベンチャー企業による『成功に向けて』のメッセージ －起業家インタビューを中心として－
筑波総研 調査情報 2017年3月号 No.46	・つくばにおける学生起業家（筑波大・学生ベンチャー）等について －学生、若手OBの設立したベンチャー垂企業に対するインタビューからの考察－ ・多様で柔軟な働き方の実現に向けた取り組み～「テレワーク」の展開にかける思い～ ・常陸那珂港区を輸出拠点とする鉱山用機械の動向 ・茨城県産農産物の販路拡大・高付加価値化に向けた取り組み
筑波総研 調査情報 2018年3月号 No.47	・産総研技術移転ベンチャー・筑波大発ベンチャーに関する最近の状況からの考察 －起業・活動状況、研究者の兼業、資金調達及びCYBERDYNEの活動について－ ・『筑波銀行』お客さまアンケート調査の結果報告 －お客さまの声は天の声－ ・茨城県内の大学生に対する県内定着に向けた取り組み ～地域づくりとキャリアデザイン～ ・人口動態と都市構造 －茨城県つくば市と土浦市をケーススタディとして－ ・茨城県におけるインバウンド誘致に向けた取り組み ～事例からみるインバウンド誘致の課題と可能性～
筑波総研 調査情報 2019年3月号 No.48	・関東エリアにおけるインキュベーター施設に関して －茨城県事例を中心とした検討－ ・茨城県内における女性活躍企業と女子学生のキャリア形成 ～茨城県「女子学生による女性ロールモデル等情報発信事業」を事例に～ ・茨城県の日本酒による地域活性化について ～県内地酒の認知度向上と次世代の造り手育成への取り組み～ ・茨城県下妻市におけるモビリティ・マネジメントの取組 ～コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造への転換に向けて～ ・茨城県内企業における外国人雇用に関する現状と課題 ～人手不足の現状と外国人雇用に向けた取り組み～
筑波総研 調査情報 2020年3月号 No.49	・国立研究開発法人発ベンチャー企業の活動の状況について －エコシステム・上場企業・個別企業への出資等を中心として－ ・地域の人財を、地域で育てる「キャリア教育」 ～茨城県立高校と企業が連携した職業教育「デュアルシステム」を事例に～ ・水災害リスクを考慮した土地利用の在り方に関する基礎的考察 ・2019年10月の消費税率引上げによる茨城県経済への影響に関する調査
筑波総研 調査情報 2021年3月号 No.50	・日本の大学発ベンチャー企業の上場事例に関する考察 －設立から上場までの期間・業種・大学別の特徴等を中心として－ ・茨城県内初、水海道中学校「夜間中学」開設に向けた挑戦 ～「地域に開かれた教育の場」での「学び直し」によるキャリア形成～ ・キャンプブームの動向と地域活性化 ～茨城県の観光資源としての県内キャンプ場の魅力と誘客への取り組み～

筑波総研株式会社

Tsukuba Institute of Research, Ltd.

調査情報 No.51
2022.3

2022年3月1日発刊
発行元：筑波総研 株式会社 〒305-0032 茨城県つくば市竹園1丁目7番
連絡先：029-829-7560(TEL) 029-856-6890(FAX) ri@tsukubair.co.jp